

公益財団法人 徳島県スポーツ協会 会報

Tokushima
Sport
Association



トピックス 第52回日独スポーツ少年団同時交流

目次

あいさつ	1
「スポーツ立県とくしま」の推進について	2
令和7年度公益財団法人徳島県スポーツ協会 役員・評議員について	3
令和6年度 事業報告・決算	4
徳島県表彰	25
新たにコーディネーターを迎えました	26
コーディネーターだより	27

トピックス	
第52回日独スポーツ少年団同時交流	28
少年団だより	41
加盟団体だより	44
総合型地域スポーツクラブだより	48
国民スポーツ大会第46回四国ブロック大会	50
第79回国民スポーツ大会 「わた SHIGA 輝く国スポ」	51
賛助会員としての御協賛のお願い	53

阿波銀行
小学生軟式野球選手権大会



阿波銀行
少年サッカー選手権大会



**あわぎんは
各種スポーツ大会を通じて
青少年の育成を
応援しています。**

阿波銀行
ジュニアソフトテニス大会



阿波銀行
ミニバスケットボール選手権大会



© K・TSUKUDA + GREEN CAMEL



阿波銀行

<https://www.awabank.co.jp/>

あいさつ

公益財団法人徳島県スポーツ協会 会長 後藤田 正 純



日頃は、本協会の諸事業に対しまして、多大なる御支援、御協力を頂き、誠にありがとうございます。

本格的な夏を迎え、県内各地では様々な競技大会や合宿、地域スポーツイベントが開催され、活気に満ちたシーズンとなっております。暑さが厳しい中ではありますが、選手の皆さんの真剣な眼差し、支えるスタッフやボランティアの方々の熱意に、日々励まされる思いです。

一方、本県では去る7月2日付けで「熱中症危機事態宣言」や「熱中症対策メッセージ」を发出し、運動の際には、日本スポーツ協会策定のガイドラインに沿った行動を行うなど、「熱中症から命を守る行動」の徹底について、県民への周知を図っているところです。

本協会では、熱中症予防について、施設利用者をはじめ、あらゆるスポーツ活動関係者に対し、チラシを配布・掲示する他、ホームページ等による啓発や、競技団体や指導者に対し講習会等を通じ、機会あるごとに周知・注意喚起をしており、県公式ラインへの登録も呼びかけています。また、各競技団体においては、暑熱下のスポーツ活動において、競技の特性に応じた熱中症対策を講じていただいています。

さて、スポーツは、県民の皆様の健康増進や生きがいづくりに不可欠であるとともに、地域の活性化にも大きく貢献するものです。本協会としましては、「スポーツ立県徳島」の実現を目指し、競技力の向上、生涯スポーツの振興、そしてスポーツを通じた青少年育成など、多岐にわたる活動を推進してまいりました。

本年は、9月28日から10月8日まで11日間の日程で、滋賀県において、国内最大のスポーツの祭典である国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く、国スポ・障スポ 2025」が開催されます(会期前実施競技は9月6日から9月15日、9月21日から9月25日までの15日間)。いよいよ本番を迎え出場される選手・監督、そして各競技団体やスポーツ団体の皆様、今こそ徳島県選手団全員が一致団結し、積み重ねてきた努力を遺憾なく発揮され、それぞれの御活躍が本県スポーツ界を大きく飛躍させるものと期待しております。

結びに、本協会を支えていただいている多くの皆様方の今後益々の御健勝と御活躍を心からお祈り申し上げまして御挨拶といたします。

「スポーツ立県とくしま」の推進について

徳島県観光スポーツ文化部長 勝川 雅史



日頃は、本県のスポーツ振興に格別のご理解、ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。また、熱中症対策をはじめ、安全・安心なスポーツ環境の確保にご尽力いただいていることに対しまして、心から感謝申し上げます。

さて、本県では、「徳島新未来創生総合計画」において、「スポーツ立県の推進」を戦略の一つに掲げ、徳島県スポーツ協会を含めた官民連携組織である徳島県スポーツコミッションとともに、スポーツを通じて社会を豊かにするための各種施策を推進しています。

「スポーツ力の向上」として、国民スポーツ大会をはじめ主要大会における上位入賞を目指し、ジュニア期からの切れ目のない指導体制の整備や医科学サポートの提供を行うとともに、今年度よりデジタル技術を活用した強化策も取り入れ、競技力の向上に取り組んでいます。

また、総合型地域スポーツクラブの活動支援やパラスポーツの振興、トップアスリートによるスポーツイベントの充実など、年齢や障がいの有無等に関わらず、誰もがスポーツを楽しむことができる機会・環境の創出を図っています。

昨年11月には、オリンピック3大会連覇の野村忠宏さんを講師にお招きして「夢はぐくみ事業・柔道教室」を開催し、偉業を成し遂げたメダリストから子ども達が直接指導を受ける貴重な機会となりました。

次に、「スポーツ環境の向上」では、令和8年度中のグラウンド・オープンを目指すオロナミンC球場の改築が進んでおり、プロ野球公式戦開催にも対応する球場へとリニューアルします。また、県民の期待に応えることができるアリーナの早期実現に向けて、関係機関と連携し、検討を進めています。

さらに、「スポーツ振興によるにぎわいづくり」では、国内外からのスポーツ大会・合宿誘致や国内トップリーグの大会開催を通じ、スポーツツーリズム推進による交流人口の拡大や、にぎわい創出に取り組んでおり、今年5月31日、6月1日には、県内初開催となるプロ野球2軍ウエスタン・リーグの公式戦「オリックス・バファローズ対福岡ソフトバンクホークス」が「踊り渦巻く！阿波・とくしまシリーズ」として県内2会場で開催され、多くの観客がプロの迫力あるプレーを体感し、大いに賑わいました。

加えて、2027年には「ワールドマスターズゲームズ2027 関西」の開催が決定しており、国内外からの多くの参加者に徳島の魅力を満喫いただくための準備に取り組んでいます。

世界で活躍するアスリートの姿は県民に夢と感動を与え、スポーツの振興は、本県における交流人口の増加や地域社会の活性化に繋がるものです。一方でスポーツを取り巻く環境は大きく変化しており、少子化による部活動の地域展開や気候変動による暑熱対策など新たな課題にも対応しながら、「スポーツ立県とくしま」の推進に向けた施策に取り組んで参ります。

結びになりますが、本県スポーツのより一層の普及・振興に、皆様のご支援、ご尽力をお願いいたしますとともに、関係者の皆様のますますのご健勝、ご活躍と、徳島県スポーツ協会の更なるご発展を心より祈念いたしまして、発刊に寄せる言葉といたします。

公益財団法人徳島県スポーツ協会役員・評議員について

(公財) 徳島県スポーツ協会の役員等の任期は、本協会の定款により、評議員は選任後4年、理事は2年、監事は4年と定められています。令和7年度は、評議員2名、理事3名、参与1名から辞任する旨の届出が提出され、6月10日の評議員選定委員会において後任を選定し、6月23日の定時評議員会終結の時をもって、新たに就任いただきました。

退任者、新任者は次のとおりです。

なお、このたび退任された皆様方には、これまで、多年にわたり、本協会の発展に多大の御貢献をいただき、深く感謝申し上げます。

○退任者(敬称略)

・評議員	岸本正文	前公益財団法人徳島市体育振興公社理事長
	清重健次	前徳島県パラスポーツ協会会長
・理事	高原清秀	前公益財団法人徳島県スポーツ協会副理事長
	仁木芳宏	前公益財団法人徳島県スポーツ協会常務理事
	野村康晴	前大塚製薬株式会社徳島本部長兼徳島本部総務部長
・参与	川上一郎	前四国電力株式会社執行役員徳島支店長

○新任者(敬称略)

・評議員	森口浩徳	徳島県パラスポーツ協会会長
	山尾士朗	公益財団法人徳島市体育振興公社理事長
・理事	楠元顕久	大塚製薬株式会社執行役員徳島本部長兼徳島本部総務部長
	徳永雅彦	公益財団法人徳島県スポーツ協会常務理事
	吉岡直彦	公益財団法人徳島県スポーツ協会専務理事
・参与	笹谷誠志	四国電力株式会社執行役員徳島支店長

令和6年度事業報告

I 概 況

これまで“国体”の愛称で親しまれてきた国民体育大会が、「国民スポーツ大会」と名称を変えた初めての大会が、佐賀県において第78回国民スポーツ大会「SAGA2024」として開催された。本県は総合順位が46位となり4大会ぶりに最下位を脱出し、3競技4種目での優勝をはじめ13競技47種目において入賞を果たした。特に、少年男子女子の選手の入賞・得点獲得が顕著であった。これまでの各競技団体における若年層からの計画的な競技者育成の成果が発揮されたもので、今後の活躍が期待される結果となった。

さらに、スポーツ施設関係では「オロナミンC球場」の建設工事が順調に進捗するほか、蔵本「むつみセンターコート」のLED化照明工事が2月からスタートするなど、スポーツ環境の整備が着々と進む中、常に安全・安心で快適にご利用いただけるよう円滑な管理運営に努めた。

当協会では、競技団体の皆様と密接に連携を図り競技の普及・振興と競技力向上に努めるとともに、健康教室を開催して子どもから高齢者まで幅広い層へのスポーツの普及に努めるなど、次の100年に向けて本県体育・スポーツの更なる発展・推進に向けて取り組んだ。

II 主要事業の実施内容

【公益目的事業】

1 競技スポーツ推進事業（決算額113,269,847円）

(1) 国民スポーツ大会支援事業（54,776,493円）

第78回国民スポーツ大会本大会「SAGA2024」及び第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会「伊香保国スポ2025」、スキー競技会「あきた鹿角国スポ2025」へ県選手団を派遣した。また、国民スポーツ大会第45回四国ブロック大会へ県選手団を派遣した。

第78回国民スポーツ大会 男女総合成績46位（663点） 女子総合成績41位（458点）

No.	JSP0	県費 その他	事業内容	令和6年 月 日 曜日	～	令和6年 月 日 曜日	場 所	実 績			
1		○	国民スポーツ大会への派遣								
			(1)第45回四国ブロック大会（本大会）	6	6	23 日 水	～ 6	8	25 日 日	香川県：香川県総合運動公園他	28競技657名派遣
			(2)第78回本大会（会期前1回目：水泳他2競技）	6	9	11 水	～ 6	9	17 火	佐賀県：SAGAアクア他	31名（選手等27、本部4）派遣
			(3)第78回本大会（会期前2回目：新体操他6競技）	6	9	21 土	～ 6	10	1 火	佐賀県：SAGAアリーナ他	61名（選手等55、本部6）派遣
			(4)第78回本大会（本会期：陸上他21競技）	6	10	5 土	～ 6	10	15 火	佐賀県：SAGAスタジアム他	273名（選手等250、本部23）派遣
			(5)第45回四国ブロック大会（アイスホッケー）	6	12	7 土				愛媛県：イヨテツスポーツセンター	16名派遣
			(6)第79回冬季大会スケート・アイスホッケー競技会	7	1	26 日 日	～ 7	1	29 水	群馬県：伊香保リンク	7名（選手等2、本部5）派遣
			(7)第79回冬季大会スキー競技会	7	2	13 木	～ 7	2	16 日	秋田県：花輪スキー場	18名（選手等12、本部6）派遣
			(8)国スポ連絡会議（第79回本大会）	7	3	21 金				東京都：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE オンラインハイブリッド開催	5名リモート出席

(2) 競技スポーツ重点強化対策事業（56,248,875円）

スポーツコーディネーターを派遣し、巡回指導を行った。

その他、直接・間接的に競技力向上に寄与する事業に係る業務を実施した。

No.	JSP0	県費	その他	事業内容	令和	月	日	曜日	～	令和	月	日	曜日	場所	実績
1		○		競技スポーツ重点強化対策事業	6	4	1	月	～	7	3	31	月		
2		○		スポーツコーディネーター活用事業	6	4	1	月	～	7	3	31	月	(受託期間)	4名
				(1)競技力向上 (3競技「スケート・自転車・アーチェリー」)										徳島県内他	練習会・競技会等参加
				(2)医科学サポート										鳴門渦潮高校他	練習・大会等サポート

(3) スポーツ科学振興事業 (463,309円)

競技者の薬物乱用・誤用を防止するためのアンチ・ドーピングに関する教育・啓発に関する研修会や成長期の少年スポーツ(野球)選手に焦点を当てて投球障害の早期発見・治療等を目的に検診事業を実施した。

No.	JSP0	県費	その他	事業内容	令和	月	日	曜日	～	令和	月	日	曜日	場所	実績
1				少年スポーツ(野球)検診事業	6	6	2	日	～	6	10	13	日	上板町松島小学校他17会場	942名受診
2		○		国スポ選手を中心としたアンチ・ドーピング教育・啓発事業	6	9	6	金						徳島グランヴィリオホテル	115名参加
3				2024年度国民スポーツ大会に向けたアンチ・ドーピング情報提供会	6	6	18	火						オンライン会議	6名参加

(4) 大会等選手激励事業 (1,781,170円)

国民スポーツ大会「本大会・冬季大会」に派遣する県選手団を鼓舞・激励するため各種式典(結団式、国スポ入賞者表彰等)の開催や各競技会に関係者(本部役員)を派遣した。

No.	JSP0	県費	その他	事業内容	令和	月	日	曜日	～	令和	月	日	曜日	場所	実績
1				選手等の激励											
				(1)国民スポーツ大会結団式											
				①第78回本大会(認定証交付)	6	9	6	金						徳島グランヴィリオホテル	300名参加
				②第79回冬季大会(認定証交付)	7	1	20	月						徳島グランヴィリオホテル	40名参加
				(2)第78回大会入賞者表彰(兼国スポ報告会)	6	11	28	木						徳島グランヴィリオホテル	95名参加

2 スポーツ指導者育成事業(決算額1,696,669円)

指導活動の促進と指導体制を確立するため、各種会議等に関係者を派遣した。また、本県スポーツ振興の礎となる有資格指導者の拡充や資質の向上を図るため、各競技別養成講習会等を実施した。

No.	JSP0	県費	その他	事業内容	令和	月	日	曜日	～	令和	月	日	曜日	場所	実績
1				指導体制の整備と活動の促進											
				(1)公認スポーツ指導者事務担当者会議	6	5	16	木						WEB会議	3名出席
				(2)公認アスレティックトレーナー連絡会議	7	1	11	土						東京都:JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE	1名出席
				(3)全国スポーツ指導者連絡会議	7	2	18	火						WEB会議	1名出席
				(4)公認スポーツドクター代表者協議会	7	3	1	土						WEB会議	1名出席
2				公認スポーツ指導者の養成・研修											
				(1)バレーボールコーチ1養成講習会	6	9	21	土	・	6	9	22	日	徳島市B&G海洋センター体育館	29名受講・修了
				(2)軟式野球コーチ1養成講習会	6	12	14	土	・	6	12	15	日	むつみパーク蔵本	50名受講・修了
					6	12	21	土							
				(3)バドミントンコーチ1養成講習会	6	8	31	土	・	6	12	8	日	徳島中学校会議室・体育館	14名受講・修了
				(4)弓道コーチ1養成講習会	6	7	6	土	・	6	7	7	日	鳴門・大塚スポーツパーク弓道場	16名受講・修了
					6	10	20	日							
					6	12	7	土	・	6	12	8	日	徳島県立中央武道館	

No.	JSP0	県費	その他	事業内容	令和	月	日	曜日	～	令和	月	日	曜日	場所	実績
				(5)スタートコーチ（ジュニア・ユース）養成講習会											
				・オンライン学習（講義動画の視聴・検定試験）	6	11	1	金	～	6	12	31	火	e-ラーニングシステム「スマートスタディ」利用	194名受講・修了
				・集合講習（講義総括・グループワーク）	7	2	11	火						徳島グランヴィリオホテル	
○				(6)徳島県スポーツ指導者研修会	6	12	22	日						徳島グランヴィリオホテル	147名受講・修了
				(7)指導者資格取得補助事業	6	4	1	月	～	7	3	31	月	対象資格：国スポ正式競技	アイスホッケー他2競技・3名補助

3 青少年スポーツ育成事業（決算額4,533,550円）

全国・四国ブロックの各種研修会及び養成講習会に指導者やリーダーを派遣するとともに、ジュニア・リーダースクールを開催し、指導者の資質の向上並びにリーダーの育成に努めた。

また、日独同時交流（国際交流）への派遣や全国・四国ブロック交流大会へ参加者の派遣及び県内交流大会を開催し、スポーツを通じた青少年の育成に努めた。

No.	JSP0	県費	その他	事業内容	令和	月	日	曜日	～	令和	月	日	曜日	場所	実績
1				組織整備の強化・充実											
				(1)日本スポーツ少年団関係											
				①都道府県事務担当者会議	6	4	26	金						東京都：JAPAN SPORT OLMPIC SQUARE オンラインハイブリッド開催	オンライン2名参加
				②委員総会（2回）	6	6	1	土	・	7	3	1	土	東京都：JAPAN SPORT OLMPIC SQUARE オンラインハイブリッド開催	第1回：1名 第2回：1名
				③全国指導者協議会	6	6	15	土						東京都：JAPAN SPORT OLMPIC SQUARE オンラインハイブリッド開催	1名参加
				④中国・四国ブロック会議	7	1	30	木	～	7	1	31	金	鳥取県：米子コンベンションセンター他	4名参加
				(2)四国ブロックスポーツ少年団関係											
				①合同会議「連絡会議、指導者連絡協議会」	6	5	24	金	・	7	1	30	木	愛媛県：西条市地域創生センター他	第1回：5名 第2回：4名
				(3)徳島県スポーツ少年団関係											
				①本部委員会	6	11	8	金	・	7	3	3	月	鳴門・大塚スポーツパーク	委員出席委任第1回 20名・第2回19名
				②指導者協議会（運営委員会）	6	11	8	金	・	7	3	3	月	鳴門・大塚スポーツパーク	第1回21名参加・第2回 27名参加
				③市町村事務担当者会議	7	3	14	金						鳴門・大塚スポーツパーク	
2				指導者の養成・研修											
				(1)アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）											
				①研修会	6	5	上旬		～	7	2	下旬		全国8会場（1日）	参加者なし
				②講師講習会	6	6	上旬		～	6	11	下旬		全国2会場（2日間）	参加者なし
				③ブラッシュアップセミナー（講師講習会受講修了者対象）	6	6	上旬		～	6	11	下旬		全国2会場（1日）	参加者なし
				(2)第7回ジュニアスポーツフォーラム	6	6	16	日						東京都：東京ガーデンテラス紀尾井町	2名参加
				(3)スタートコーチインストラクター養成講習会	6	9	28	土	～	6	9	29	日	大阪府：新大阪丸ビル別館	7名参加
				(4)スタートコーチインストラクター再委嘱研修会	6	10	27	日						岡山県：スクエアホール	10名参加
				(5)四国ブロック指導者研究協議会	6	10	20	日						愛媛県：道後にぎたつ会館	3名参加
3				リーダーの育成・研修											
				(1)徳島県リーダー会	6	4	1	月	～	7	3	31	月	総会1回、定例会8回（内イベント2回）	延べ139人
				(2)全国リーダー連絡会	6	11	10	日						東京都：JAPAN SPORT OLMPIC SQUARE オンラインハイブリッド開催	指導者1名、リーダー 2名派遣
				(3)リーダー会研修会	6	7	24	水	～	6	7	27	土	兵庫県：国立淡路青少年交流の家	リーダー12名
				(4)ジュニア・リーダースクール	6	7	25	木	～	6	7	27	土	兵庫県：国立淡路青少年交流の家	44名参加（35名認定）
				(5)シニア・リーダースクール 事前研修	6	7	7	日						オンライン	リーダー3名 運営リーダー1名派遣
				全体研修	6	8	8	木	～	6	8	11	日	静岡県：国立中央青少年交流の家	
○				(6)四国ブロックリーダー研究大会	6	8	23	金	～	6	8	24	土	徳島県：むつみパーク蔵本他	3県・指導者6名、リーダー 18名参加 （徳島県指導者4名、 リーダー14名）

No.	JSP0	県費	その他	事業内容	令和	月	日	曜日	～	令和	月	日	曜日	場所	実績
4				国際交流の派遣及び受入等											
		○		(1)第51回日独同時交流（派遣）											
				①日本団事前研修会	6	5	18	土	～	6	5	19	日	オンライン	2名参加
				②四国ブロック派遣団員事前研修会	6	6	16	日						愛媛県：愛媛県武道館	2名参加
				③本県団員の派遣	6	7	31	水	～	6	8	15	木	ドイツ各地	2名参加
			(2)第52回日独同時交流												
				派遣団員推薦に係る選考委員会	7	2	11	火						徳島グランヴィリオホテル	
5				交流大会の派遣及び開催											
				(1)全国大会											
				①スポーツ少年大会（第62回）	6	7	27	土	～	6	7	30	火	秋田県：秋田県立田沢湖スポーツセンター	指導者1名、団員5名派遣
				②軟式野球（第46回）	6	8	1	木	～	6	8	4	日	鳥取県：どらドラパーク米子市民球場他	派遣なし
				③バレーボール（第22回）	6	12	27	金	～	6	12	30	月	愛媛県：愛媛県武道館他	女子：指導者3名、団員12名派遣
				④剣道（第47回）	7	3	28	金	～	7	3	30	日	大分県：レゾナック武道スポーツセンター	指導者1名、団員7名派遣
				(2)四国ブロック大会											
				①軟式野球（全国予選）	6	6	22	土	～	6	6	23	日	香川県：レクザムスタジアム	指導者7名、団員28名派遣
				②サッカー	6	6	29	土	～	6	6	30	日	愛媛県：西条市ひうち陸上競技場	指導者6名、団員24名派遣
				③スポーツ少年大会	6	7	14	日						高知県：シーパーク大島他	指導者1名、団員7名派遣
				④フリー種目（女子サッカー）	6	7	28	日						高知県：高知県立春野総合運動公園	指導者6名、団員29名派遣
		○		⑤ミニバスケットボール	6	8	31	土						徳島県：松茂町総合体育館	台風接近のため中止
				(3)県内大会											
				①軟式野球	7	3	1	土	～	7	3	29	土	JAアグリあなんスタジアム他	87団・1,250名参加
			②サッカー	6	4	29	月	～	6	5	25	土	三好市三野健康防災公園他	77団・1,020名参加	
			③剣道	6	12	1	日						ソイジョイ武道館	団体14チーム・82名 個人58名(男子32、女子26)	
			④バレーボール	7	2	8	土						うだつアリーナ	23団・250名参加	
6				スポーツ少年団登録状況	6	4	1	月	～	7	3	31	月		
				本部設置市町村数：23市町村 単位団：360団											
				役員・スタッフ数：523名 指導者数：976名											
				団員数：6,022名（男子：4,289名、女子：1,733名）											

4 スポーツ普及・振興事業（決算額31,082,706円）

(1) スポーツ活動支援事業（1,534,680円）

Love&Fanとくしまスポーツ活性化計画への助成を行った。

また、市町村体育・スポーツ協会及び生涯スポーツ競技団体（国スポ競技以外）が実施する各種スポーツ事業に対して補助を行い、県民がスポーツに親しむ機会を増やし、スポーツの振興と普及に努めた。

今年度は、市町村体育・スポーツ協会23団体、生涯スポーツ競技団体等12団体の合計35団体に補助を行い、10,747名が参加した。

No.	JSP0	県費	その他	事業内容	令和	月	日	曜日	～	令和	月	日	曜日	場所	実績
1				Love&Fan!とくしまスポーツ活性計画助成事業の支援	6	4	1	月	～	7	3	31	月		
2				加盟団体への活動推進支援											
				(1)市町村体育・スポーツ協会への補助	6	4	1	月	～	7	3	31	月	23団体	9,014名
				(2)生涯スポーツ競技団体等への補助	6	4	1	月	～	7	3	31	月	12団体	1,733名
3				日本スポーツマスターズ2024の支援	6	4	1	月	～	7	3	31	月		
4				第1回生涯スポーツ委員会	6	9	18	水						むつみパーク蔵本	出席委任8名、委任状1名

(2) 総合型地域スポーツクラブ普及・育成・支援事業 (18,670,726円)

徳島県スポーツ推進計画に基づき、総合型地域スポーツクラブが自主的・主体的な活動ができるよう支援するとともに、徳島県から委託を受け運営基盤の強化を図るための各種事業を実施した。

No.	JSP0	県費	その他	事業内容	令和	月	日	曜日	～	令和	月	日	曜日	場所	実績
1		○		地域スポーツ推進力向上事業											
				①クラブマネジメント力向上事業	6	11	9	土	～	6	11	10	日	むつみパーク蔵本 むつみスイミング会議室	4名
				②スポレクプログラム促進事業	6	4	1	月	～	7	3	31	月	いしいスポーツクラブ、他13クラブ	14事業、5,494名
				③健康づくり指導者養成事業	6	11	2	土	～	7	3	19	水	三好市池田総合体育館他2会場	3事業、49名
				④スポーツSDGs推進事業	6	5	20	月	～	7	2	28	金	NPO法人海陽愛あいクラブ他	8事業、1,303名
				⑤登録・認証制度整備事業	6	10	1	火	～	7	2	28	金		26クラブ

(3) 地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業 (3,769,144円)

地域スポーツ活動の活性化に向けて、安全安心な運動・スポーツを地域住民に提供できるよう、幅広いニーズに応えられる地域のスポーツ環境の基盤強化に努めた。

No.	JSP0	県費	その他	事業内容	令和	月	日	曜日	～	令和	月	日	曜日	場所	実績
1		○		地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業											
				(1)地域スポーツ推進団体連絡会議	6	7	17	水	・	7	2	17	月	県立総合福祉センター・徳島グランヴィリオホテル	9名・10名
				(2)スポーツによる地域課題解決に向けた取組	6	6	28	金	～	7	2	24	月	オンラインスポーツセミナー他	4事業、144回、1,119名
				(3)登録審査委員会	7	1	29	水						徳島グランヴィリオホテル	8名

(4) 競技スポーツ普及促進事業 (3,809,923円)

本県の競技力の継続的な向上を図るため、管理施設の特性を生かした競技スポーツ教室を専門の外部講師により開催した。

また、「とくしまマラソン」参加希望者の応援講座として、レベル別の2コース（初級、中級）を開催し、幅広く受講生を受け入れた。大学教授や管理栄養士等の専門家による理論と実践の両面にわたる指導を行い、運動機会を創出すると共に、とくしまマラソンのにぎわいづくりに寄与した。

No.	JSP0	県費	その他	事業内容	令和	月	日	曜日	～	令和	月	日	曜日	場所	実績
1				競技力向上のための教室開催											
				(1)鳴門・大塚スポーツパーク	6	4	1	月	～	7	3	31	月		
				①ジュニアフェンシング教室										鳴門・大塚スポーツパーク	77回、延べ685名
				②少年剣道教室										鳴門・大塚スポーツパーク	100回、延べ756名
				③弓道教室										鳴門・大塚スポーツパーク	87回、延べ286名
				④とくしまマラソン応援講座										鳴門・大塚スポーツパーク	14回、延べ387名
				(2)むつみパーク蔵本	6	4	1	月	～	7	3	31	月		
				①テニス教室										むつみパーク蔵本	90回、延べ1,209名
				②すもう教室										むつみパーク蔵本	31回、延べ288名

(5) スポーツ安全保険事業 (3,298,233円)

スポーツ活動やレクリエーション活動などを安全・安心に行うため、スポーツ安全保険の加入を促進し、社会教育活動の更なる普及・啓発に努めた。

No.	JSP0	県費	その他	事業内容	令和	月	日	曜日	～	令和	月	日	曜日	場所	実績
1				○スポーツ安全保険	6	4	1	月	～	7	3	31	月	1,521団体	52,113名加入

5 広報・顕彰事業 (決算額10,089,640円)

(1) 広報活動事業 (1,263,071円)

年2回の会報誌の発行を行うとともに、年間を通じホームページでの広報に努めた。

No.	JSP0	県費	その他	事業内容	令和	月	日	曜日	～	令和	月	日	曜日	場所	実績
1				広報誌発行 (年2回)	6	4	1	月	～	7	3	31	月		
				本協会ホームページの充実	6	4	1	月	～	7	3	31	月		

(2) 顕彰事業 (8,826,569円)

2月11日にスポーツ協会表彰を徳島グランヴィリオホテルにおいて実施し、計390名の表彰・顕彰を行った。

No.	JSP0	県費	その他	事業内容	令和	月	日	曜日	～	令和	月	日	曜日	場所	実績
1				スポーツ功労者等表彰式の実施	7	2	11	火						徳島グランヴィリオホテル	合計 390名
				①感謝状											1名
				②スポーツ功労者											37名
				③スポーツ指導者											29名
				④スポーツ特別優秀者											59名
				⑤スポーツ優秀者											228名
				⑥スポーツ奨励賞											15名
				⑦生涯スポーツ賞(1)											17名
				⑧生涯スポーツ賞(2)											4名
2				広報・顕彰委員会 (第1回)	6	10	24	木							委員出席委任14名
				広報・顕彰委員会 (第2回)	7	1	16	木							委員出席委任14名

6 指定管理受託事業（決算額425,189,961円）

(1) スポーツ施設の管理運営

徳島県から委託（指定管理）を受けた体育施設、

【鳴門・大塚スポーツパーク、むつみパーク蔵本、中央武道館】を

- 施設の設置目的を踏まえた事業展開
- 安全で安心して利用できる施設の提供
- 利用者視点に立ったサービスの提供
- コスト意識の重視
- 施設老朽化への適切な対応

の5つの視点を施設の管理運営方針に掲げ、社会変化に迅速に対応できる柔軟な発想力をもって、利用者サービスの向上と効果的な運用に取り組み、多くの県民の皆さまに安全・快適にご利用いただける施設となるよう努めた。

また、オロナミンC球場解体工事に伴う駐車場の減少や野球場減によるスケジュール調整等、各競技団体との適切な利用調整と利用者の安全に努めた。

		令和6年度	令和5年度	増 減
鳴門・大塚スポーツパーク	施設利用件数	28,683件	24,948件	3,735件
	施設利用者数	447,546人	475,288人	△ 27,742人
	施設使用料	約36,959千円	約38,787千円	△ 約1,828千円
むつみパーク蔵本	施設利用件数	23,099件	22,946件	153件
	施設利用者数	138,553人	125,580人	12,973人
	施設使用料	約21,298千円	約20,905千円	約393千円
中央武道館	施設利用件数	2,880件	2,639件	241件
	施設利用者数	35,430人	34,217人	1,213人
	施設使用料	約4,343千円	約3,979千円	約364千円
3施設合計	施設利用件数	54,662件	50,533件	4,129件
	施設利用者数	621,529人	635,085人	△ 13,556人
	施設使用料	約62,600千円	約63,671千円	△ 約1,071千円

(2) スポーツ普及のための健康教室

指定管理施設を利用して、次のような健康教室等を開催し、子どもから高齢者まで幅広い層の方にスポーツに親しんでいただきスポーツの普及に努めるとともに、高齢者等の健康寿命の延伸や子どもの体力向上等を図った。

本年度も、実施可能なプログラムを検討することで、可能な限り県民に運動機会を提供できるよう努めた。また、働く世代が参加しやすい夜間の単発教室を増やすとともにトレーニング講習会も回数を増やし曜日や時間帯を工夫し、より多くの方が受講できるよう努めた。

No.	JSPO	県費	その他	事業内容	令和	月	日	曜日	～	令和	月	日	曜日	場 所	実 績
1				むつみパーク蔵本											
				①ダンスでリフレッシュ	6	4	1	月	～	7	3	31	月	むつみパーク蔵本	30回、延べ805名
				②Reborn体幹入門	6	4	1	月	～	7	3	31	月	むつみパーク蔵本	30回、延べ307名
				③チャレンジスポーツ	6	4	1	月	～	7	3	31	月	むつみパーク蔵本	30回、延べ600名

No.	JSP0	県費	その他	事業内容	令和	月	日	曜日	～	令和	月	日	曜日	場所	実績
				④生き生き筋活	6	4	1	月	～	7	3	31	月	むつみパーク蔵本	30回、延べ795名
				⑤ジムで健康トレーニング	6	4	1	月	～	7	3	31	月	むつみパーク蔵本	29回、延べ447名
				⑥わんぱく運動（4・5歳児）	6	4	1	月	～	7	3	31	月	むつみパーク蔵本	30回、延べ385名
				⑦らくらくストレッチA	6	4	1	月	～	7	3	31	月	むつみパーク蔵本	30回、延べ367名
				⑧生活習慣病予防	6	4	1	月	～	7	3	31	月	むつみパーク蔵本	30回、延べ676名
				⑨椅子を使ってハツラツ体操	6	4	1	月	～	7	3	31	月	むつみパーク蔵本	30回、延べ351名
				⑩らくらくストレッチB	6	4	1	月	～	7	3	31	月	むつみパーク蔵本	30回、延べ304名
				⑪親子うんどう	6	4	1	月	～	6	9	30	月	むつみパーク蔵本	15回、延べ90名
				⑫ビジョンヨガ	6	4	1	月	～	7	3	31	月	むつみパーク蔵本	30回、延べ569名
				⑬背骨コンディショニング	6	4	1	月	～	7	3	31	月	むつみパーク蔵本	30回、延べ562名
				⑭バウンドテニス	6	4	1	月	～	7	3	31	月	むつみパーク蔵本	30回、延べ427名
				⑮楽しくピンポン	6	4	1	月	～	7	3	31	月	むつみパーク蔵本	30回、延べ726名
				⑯楽しくシェイプアップ	6	4	1	月	～	7	3	31	月	むつみパーク蔵本	30回、延べ577名
				⑰楽しくレクリエーション	6	4	1	月	～	7	3	31	月	むつみパーク蔵本	29回、延べ361名
				⑱スポンジテニス	6	4	1	月	～	7	3	31	月	むつみパーク蔵本	30回、延べ496名
				⑲ZUMBAゴールド	6	4	1	月	～	7	3	31	月	むつみパーク蔵本	29回、延べ655名
				⑳ジュニアスポーツ（1・2年）	6	4	1	月	～	7	3	31	月	むつみパーク蔵本	30回、延べ303名
				㉑短期水泳教室（4・5歳児コース）	6	7	29	月	～	6	7	31	水	むつみパーク蔵本	3回、延べ25名
				㉒短期水泳教室（1・2年生コース）	6	7	29	月	～	6	7	31	水	むつみパーク蔵本	3回、延べ26名
2				鳴門・大塚スポーツパーク											
				①レッツピンポン（初心者コース）	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	30回、延べ203名
				②レッツピンポン（ゲームコース）	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	30回、延べ503名
				③生き生き筋活	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	30回、延べ816名
				④チャレンジスポーツ	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	30回、延べ209名
				⑤キックボクシングエクササイズ	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	30回、延べ804名
				⑥わんぱくうんどう（5歳児）	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	30回、延べ387名
				⑦生活習慣病予防	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	59回、延べ1,775名
				⑧スポンジテニス（初球コース）	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	30回、延べ290名
				⑨リフレッシュヨガ	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	30回、延べ1,156名
				⑩ロコモ予防	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	30回、延べ809名
				⑪親子うんどう（4歳児）	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	30回、延べ302名
				⑫楽ゆる体操	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	30回、延べ784名
				⑬スポンジテニス（ゲームコース）	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	15回、延べ361名
				⑭爽快！リズム体操	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	15回、延べ841名
				⑮のびのびストレッチ	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	30回、延べ812名
				⑯ジムで健活！	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	30回、延べ157名
				⑰ジュニアスポーツ（3～5年）	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	30回、延べ371名
				⑱働く大人のフィットネス	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	42回、延べ423名
				⑲Reborn体幹（初心者）	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	29回、延べ307名
				⑳ハツラツ健康	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	29回、延べ770名
				㉑楽しく！レクリエーション教室	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	29回、延べ393名
				㉒ジュニアスポーツ（1・2年）	6	4	1	月	～	7	3	31	月	鳴門・大塚スポーツパーク	29回、延べ532名

No.	JSP0	県費	その他	事業内容	令和	月	日	曜日	～	令和	月	日	曜日	場所	実績
3				徳島県立中央武道館											
				①太極拳	6	4	1	月	～	7	3	31	月	徳島県立中央武道館	30回、延べ376名
				②ハツツ筋活	6	4	1	月	～	7	3	31	月	徳島県立中央武道館	30回、延べ643名
				③高齢剣道	6	4	1	月	～	7	3	31	月	徳島県立中央武道館	43回、延べ761名
				④ピラティス	6	4	1	月	～	7	3	31	月	徳島県立中央武道館	30回、延べ352名
				⑤リスタート弓道	6	4	1	月	～	7	3	31	月	徳島県立中央武道館	36回、延べ488名

(3) スポーツ普及等助成事業

公共団体や教育機関、総合型地域スポーツクラブ等が実施するスポーツの普及や競技力の向上等を
目指す取り組みを支援することで選手の育成や生涯スポーツの振興に資するとともに、地域の活性化
を図った。

No.	JSP0	県費	その他	事業内容	令和	月	日	曜日	～	令和	月	日	曜日	場所	実績
1				スポーツ普及のためのイベント等の実施											
				①ファミスポカーニバル（徳島県スポーツコミッションと共催）	6	10	5	土						藍場浜公園	約2,500名
				②鳴門渦潮高等学校スポーツ科学支援事業	6	4	1	月	～	7	3	31	月		

【収益事業等】

7 売店等運営事業（決算額605,480円）

第3期指定管理より、「受託施設の売店（自動販売機を含む）は、指定管理者が自主事業として設置
する場合にのみ、設置許可を与えるものとする。」こととなった。これらの設置により得た収益は、公
益目的事業に充当した。

【その他事業】

8 法人運営事業（決算額7,695,445円）

定時評議員会、理事会、総務委員会の開催等、本会の運営業務にあたった。

No.	JSP0	県費	その他	事業内容	令和	月	日	曜日	～	令和	月	日	曜日	場所	実績
1				評議員会（4回）定時評議員会	5	6	28	金						徳島グランヴィリオホテル	出席評議員14名
				臨時評議員会	6	7	10	水							みなし決議（書面決議）
				臨時評議員会	7	1	6	月							みなし決議（書面決議）
				臨時評議員会	7	3	27	木						鳴門・大塚スポーツパーク	出席評議員12名
				理事会（7回）臨時理事会	6	4	1	月							みなし決議（書面決議）
				通常理事会	6	6	7	金						鳴門・大塚スポーツパーク	出席理事・監事17名
				臨時理事会	6	6	28	金						徳島グランヴィリオホテル	出席理事・監事22名
				臨時理事会	6	9	10	火							みなし決議（書面決議）
				臨時理事会	6	11	22	金							みなし決議（書面決議）
				臨時理事会	7	1	20	月						徳島グランヴィリオホテル	出席理事・監事20名
				通常理事会	7	3	18	火						鳴門・大塚スポーツパーク	出席理事・監事16名

No.	JSP0	県費 その他	事業内容	令和 月 日	曜日	～	令和 月 日	曜日	場所	実績
			総務委員会（2回）	6 6 7	金					委員出席委任13名
				7 3 18	火				鳴門・大塚スポーツパーク	委員出席委任12名
			評議員選定委員会	6 6 12	水				徳島グランヴィリオホテル	委員出席3名
			役員推薦委員会	6 6 12	水				徳島グランヴィリオホテル	委員出席3名
			その他							
			日本スポーツ協会運動部活動の地域移行に向けた JSPO加盟団体ミーティング（2回）	6 12 11	水	・	7 3 6	木	東京都：JAPAN SPORT OLMPIC SQUARE オンラインハイブリッド開催	3名出席※WEB
			四国4県スポーツ協会会長会議	6 8 17	土				香川県：ホテルパールガーデン	5名出席
			都道府県体育・スポーツ協会連合会総会	7 3 21	金				東京都：TKPガーデンシティ PREMIUM品川高輪口 オンラインハイブリッド開催	1名出席※WEB
			事務局関係							
			加盟団体連絡会議	6 6 18	火				徳島グランヴィリオホテル	87名参加
			都道府県体育・スポーツ協会連合会事務局長研修会	6 11 14	木	～	6 11 15	金	山口県：山口グランドホテル	1名参加
			都道府県体育・スポーツ協会連合会事務局職員研修会	6 12 4	水	～	6 12 6	金	滋賀県：草津エストピアホテル	1名参加
			四国4県スポーツ協会事務局会議	6 7 4	木	～	6 7 5	金	高知県：桂浜「海のテラス」	3名参加
2			各競技団体等事業の後援	6 4 1	月	～	7 3 31	月		38事業

Ⅲ 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

このことについて、理事会は法令及び定款に従い、重要事項を決定し、理事及び職員の職務の執行が適合していることを確認するとともに、理事の職務執行に係る情報は、理事会議事録に記録され、その記録は適切に保存及び管理している。

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	172,156,157	178,787,809	△ 6,631,652
未収入金	13,126,324	16,434,639	△ 3,308,315
前払金	359,910	360,010	△ 100
貯蔵品	96,102	78,511	17,591
流動資産合計	185,738,493	195,660,969	△ 9,922,476
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預金	121,503,428	121,503,428	0
基本財産合計	121,503,428	121,503,428	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	1,751,709	1,525,460	226,249
有価証券	15,000,000	15,000,000	0
その他固定資産合計	16,751,709	16,525,460	226,249
固定資産合計	138,255,137	138,028,888	226,249
資産合計	323,993,630	333,689,857	△ 9,696,227
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	40,167,010	44,561,984	△ 4,394,974
預り金	2,879,685	2,938,336	△ 58,651
前受金	4,784,000	3,778,000	1,006,000
流動負債合計	47,830,695	51,278,320	△ 3,447,625
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	47,830,695	51,278,320	△ 3,447,625
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	276,162,935	282,411,537	△ 6,248,602
(うち基本財産への充当額)	(121,503,428)	(121,503,428)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	276,162,935	282,411,537	△ 6,248,602
負債及び正味財産合計	323,993,630	333,689,857	△ 9,696,227

貸借対照表内訳表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1 流動資産					
現金預金	35,038,058		137,118,099		172,156,157
未収入金	11,846,541	1,279,783			13,126,324
前払金		359,910			359,910
貯蔵品	96,102				96,102
流動資産合計	46,980,701	1,639,693	137,118,099	0	185,738,493
2 固定資産					
(1) 基本財産					
基本財産引当預金			121,503,428		121,503,428
基本財産合計	0	0	121,503,428	0	121,503,428
(2) 特定資産					0
特定資産合計	0	0	0	0	0
(3) その他固定資産					
什器備品	1,751,708	0	1		1,751,709
有価証券	0	0	15,000,000		15,000,000
その他固定資産合計	1,751,708	0	15,000,001	0	16,751,709
固定資産合計	1,751,708	0	136,503,429	0	138,255,137
資産合計	48,732,409	1,639,693	273,621,528	0	323,993,630
II 負債の部					
1 流動負債					
未払金	39,490,290	668,800	7,920		40,167,010
預り金	2,879,685				2,879,685
前受金	4,784,000				4,784,000
流動負債合計	47,153,975	668,800	7,920	0	47,830,695
2 固定負債					0
固定負債合計	0	0	0	0	0
負債合計	47,153,975	668,800	7,920	0	47,830,695
III 正味財産の部					
1 指定正味財産					
指定正味財産合計					
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産					
一般正味財産合計	1,578,434	970,893	273,613,608	0	276,162,935
一般正味財産合計	1,578,434	970,893	273,613,608	0	276,162,935
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(121,503,428)	(0)	(121,503,428)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	1,578,434	970,893	273,613,608	0	276,162,935
負債及び正味財産合計	48,732,409	1,639,693	273,621,528	0	323,993,630

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	3,031	2,435	596
基本財産受取利息	3,031	2,435	596
② 受取会費	3,880,000	3,880,000	0
加盟団体会費	3,880,000	3,880,000	0
③ 受取登録料	909,000	921,400	△ 12,400
スポーツ少年団会費	909,000	921,400	△ 12,400
④ 事業収益	454,042,746	519,314,945	△ 65,272,199
受取徳島県受託収益	447,138,506	455,900,423	△ 8,761,917
受取日本スポーツ協会受託収益	3,884,240	59,651,522	△ 55,767,282
受取民間受託収益	3,020,000	3,763,000	△ 743,000
⑤ 受取補助金等	99,333,044	106,633,222	△ 7,300,178
受取徳島県補助金	94,072,404	101,814,922	△ 7,742,518
受取日本スポーツ協会補助金	1,845,640	2,267,300	△ 421,660
受取民間助成金	3,415,000	2,551,000	864,000
⑥ 受取負担金	12,121,600	15,718,787	△ 3,597,187
受取負担金	12,121,600	15,718,787	△ 3,597,187
⑦ 受取寄附金	10,955,000	11,762,994	△ 807,994
受取寄附金	10,085,000	10,837,994	△ 752,994
賛助会員会費	870,000	925,000	△ 55,000
⑧ 雑収益	6,750,275	6,602,211	148,064
受取利息	147,719	73,433	74,286
雑収益	6,602,556	6,528,778	73,778
経常収益計	587,994,696	664,835,994	△ 76,841,298
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	166,896,315	175,994,780	△ 9,098,465
臨時雇賃金	29,113,258	29,542,645	△ 429,387
退職給付費用	10,223,000	9,407,000	816,000
福利厚生費	36,547,102	39,439,634	△ 2,892,532
会議費	358,660	317,240	41,420
旅費交通費	53,437,772	57,608,485	△ 4,170,713
通信運搬費	3,192,909	3,276,555	△ 83,646
減価償却費	708,751	1,329,396	△ 620,645
消耗品費	11,907,519	10,236,403	1,671,116
原材料費	6,965,387	6,588,398	376,989
修繕費	76,386,227	79,593,653	△ 3,207,426
印刷製本費	1,819,362	2,012,198	△ 192,836
燃料費	5,533,174	6,435,408	△ 902,234
光熱水費	63,564,690	61,341,951	2,222,739
賃借料	7,076,944	6,937,656	139,288
保険料	991,856	978,562	13,294
諸謝金	11,937,350	11,327,254	610,096
租税公課	19,836,494	18,887,779	948,715
支払負担金	1,131,500	4,017,900	△ 2,886,400
支払助成金	2,874,100	2,874,652	△ 552
委託金	67,050,867	122,614,560	△ 55,563,693
激励金	344,000	359,000	△ 15,000

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
報奨金	795,000	615,000	180,000
支払手数料	7,146,366	7,527,777	△ 381,411
施設使用料	0	0	0
雑 費	629,250	689,168	△ 59,918
事業費計	586,467,853	659,953,054	△ 73,485,201
② 管理費			
役員報酬	0	0	0
給料手当	2,021,409	2,914,325	△ 892,916
退職給付費用	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
会議費	193,655	100,563	93,092
旅費交通費	255,068	314,692	△ 59,624
通信運搬費	377,995	187,585	190,410
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	261,081	636,064	△ 374,983
印刷製本費	422,070	153,450	268,620
光熱水料費	1,297,239	1,237,440	59,799
賃借料	864,232	1,395,546	△ 531,314
保険料	0	0	0
諸謝金	0	595,000	△ 595,000
租税公課費	55,600	13,200	42,400
支払負担金	693,840	655,350	38,490
支払寄附金	5,000	8,000	△ 3,000
支払手数料	1,240,756	1,414,784	△ 174,028
雑 費	7,500	35,235	△ 27,735
管理費計	7,695,445	9,661,234	△ 1,965,789
経常費用計	594,163,298	669,614,288	△ 75,450,990
当期経常増減額	△ 6,168,602	△ 4,778,294	△ 1,390,308
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 6,168,602	△ 4,778,294	△ 1,390,308
法人税、住民税及び事業税	80,000	80,000	0
3. 予備費			
当期一般正味財産増減額	△ 6,248,602	△ 4,858,294	△ 1,390,308
一般正味財産期首残高	282,411,537	287,269,831	△ 4,858,294
一般正味財産期末残高	276,162,935	282,411,537	△ 6,248,602
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	276,162,935	282,411,537	△ 6,248,602

正味財産増減計算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日

公益財団法人 徳島県スポーツ協会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計 公1 スポーツ推進事業	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	【共通】	合計
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	(0)	(0)	(3,031)	(0)	(0)	(3,031)
基本財産受取利息	0		3,031			3,031
受取会費	(0)	(0)	(3,880,000)	(0)	(0)	(3,880,000)
加盟団体会費	0		3,880,000			3,880,000
受取登録料	(909,000)	(0)	(0)	(0)	(0)	(909,000)
スポーツ少年団登録料	909,000					909,000
事業収益	(454,042,746)	(0)	(0)	(0)	(0)	(454,042,746)
受取徳島県受託収益	447,138,506					447,138,506
受取日本スポーツ協会受託収益	3,884,240					3,884,240
受取民間受託収益	3,020,000					3,020,000
受取補助金等	(99,333,044)	(0)	(0)	(0)	(0)	(99,333,044)
受取徳島県補助金	94,072,404					94,072,404
受取日本スポーツ協会補助金	1,845,640					1,845,640
受取民間助成金	3,415,000					3,415,000
受取負担金	(12,121,600)	(0)	(0)	(0)	(0)	(12,121,600)
受取負担金	12,121,600		0			12,121,600
受取寄附金	(9,946,500)	(0)	(1,008,500)	(0)	(0)	(10,955,000)
受取寄附金	9,076,500		1,008,500			10,085,000
賛助会員会費	870,000		0			870,000
雑収益	(222,147)	(6,495,447)	(32,681)	(0)	(0)	(6,750,275)
受取利息	115,038		32,681			147,719
雑収益	107,109	6,495,447	0			6,602,556
経常収益計	576,575,037	6,495,447	4,924,212	0	0	587,994,696
(2) 経常費用						
事業費	(585,862,373)	(605,480)	(0)	(0)	(0)	(586,467,853)
給料手当	166,896,315					166,896,315
臨時雇賃金	29,113,258					29,113,258
退職給付費用	10,223,000					10,223,000
福利厚生費	36,547,102					36,547,102
会議費	358,660					358,660
旅費交通費	53,437,772					53,437,772
通信運搬費	3,192,909					3,192,909
減価償却費	708,751					708,751
消耗品費	11,907,519					11,907,519
原材料費	6,965,387					6,965,387
修繕費	76,386,227					76,386,227
印刷製本費	1,819,362					1,819,362
燃料費	5,533,174					5,533,174
光熱水費	63,564,690					63,564,690
賃借料	7,060,264	16,680				7,076,944
保険料	991,856					991,856
諸謝金	11,937,350					11,937,350
租税公課	19,247,694	588,800				19,836,494
支払負担金	1,131,500					1,131,500
支払助成金	2,874,100					2,874,100
委託金	67,050,867					67,050,867
激励金	344,000					344,000
報奨金	795,000					795,000
支払手数料	7,146,366					7,146,366
施設使用料	0					0
雑費	629,250					629,250

科 目	公益目的事業会計 公1 スポーツ推進事業	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	【共通】	合計
管理費	(0)	(0)	(7,695,445)	(0)	(0)	(7,695,445)
役員報酬			0			0
給料手当			2,021,409			2,021,409
退職給付費用			0			0
福利厚生費			0			0
会議費			193,655			193,655
旅費交通費			255,068			255,068
通信運搬費			377,995			377,995
減価償却費			0			0
消耗什器備品費			0			0
消耗品費			261,081			261,081
印刷製本費			422,070			422,070
光熱水料費			1,297,239			1,297,239
賃借料			864,232			864,232
保険料			0			0
諸謝金			0			0
租税公課費			55,600			55,600
支払負担金			693,840			693,840
支払寄附金			5,000			5,000
支払手数料			1,240,756			1,240,756
雑費			7,500			7,500
経常費用計	585,862,373	605,480	7,695,445	0	0	594,163,298
当期経常増減額	△ 9,287,336	5,889,967	△ 2,771,233	0	0	△ 6,168,602
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計						0
(2) 経常外費用						
固定資産除却損			(0)			(0)
什器備品除却損						0
経常外費用計			0			0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	2,941,012	△ 5,809,967	2,868,955		0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 6,346,324	80,000	97,722		0	△ 6,168,602
法人税、住民税及び事業税	0	80,000	0			80,000
3. 予備費						
当期一般正味財産増減額	△ 6,346,324	0	97,722	0	0	△ 6,248,602
一般正味財産期首残高						282,411,537
一般正味財産期末残高						276,162,935
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額						0
指定正味財産期首残高						0
指定正味財産期末残高						0
III 正味財産期末残高						276,162,935

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産……定額法により減価償却を行っている。
- (3) リース取引の処理方法
通常の賃借取引に準じた会計処理によっている。
- (4) 消費税等の会計処理
税込処理によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高
基 本 財 産				
定期預金	121,503,428	0	0	121,503,428
小 計	121,503,428	0	0	121,503,428
特 定 資 産				
	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	121,503,428	0	0	121,503,428

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基 本 財 産				
定期預金	121,503,428	-	(121,503,428)	-
合 計	121,503,428	-	(121,503,428)	-

4 担保に供している資産

該当なし

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
什 器 備 品	16,279,460	14,527,751	1,751,709
合 計	16,279,460	14,527,751	1,751,709

6 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債 権 金 額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未 収 金	13,126,324	0	13,126,324
合 計	13,126,324	0	13,126,324

7 保証債務等の偶発債務

該当なし

8 満期保有目的の債券の帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種 類 及 び 銘 柄	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
徳島県令和4年度第2回公募公債	15,000,000	15,000,000	0
合 計	15,000,000	15,000,000	0

9 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補 助 金 等 の 名 称	交 付 者	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高	貸借対照表上の記載区分
補助金等						
国スポ派遣事業県費補助金	徳島県	0	49,218,965	49,218,965	0	
国スポ四国ブロック派遣事業県費補助金	徳島県	0	5,484,565	5,484,565	0	
競技スポーツ重点強化対策事業県費補助金	徳島県	0	39,257,992	39,257,992	0	
日独スポーツ少年団同時交流事業補助金	徳島県	0	110,882	110,882	0	
都道府県体育・スポーツ協会スポーツ振興事業助成金	JSPO	0	44,200	44,200	0	
スポーツ少年団組織整備補助金	JSPO	0	1,609,440	1,609,440	0	
スポーツ指導者育成事業交付金	JSPO	0	192,000	192,000	0	
スポーツ振興くじ助成金	日本スポーツ振興センター	0	3,415,000	3,415,000	0	
委託金						
「スポーツコーディネーター」活用事業委託金	徳島県	0	15,188,450	15,188,450	0	
地域スポーツ推進力向上事業委託金	徳島県	0	15,255,726	15,255,726	0	
受託施設管理運営事業委託金	徳島県	0	416,694,330	416,694,330	0	
国スポ選手を中心としたドーピング防止教育・啓発事業委託金	JSPO	0	135,200	135,200	0	
地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業委託金	JSPO	0	3,749,040	3,749,040	0	
スポーツ安全協会業務委託金	スポーツ安全協会	0	3,020,000	3,020,000	0	
合 計		0	553,375,790	553,375,790	0	

10 関連当事者との取引の内容

該当なし

11 重要な後発事象

該当なし

計算書類の附属明細書

(1) 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記に記載している。

財 産 目 録

令和 7 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対象科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	現金手許有高	運転資金として	323,927
預金	普通預金	運転資金として	
	阿波銀行県庁支店800636		9,119,602
	阿波銀行県庁支店1094300		63,814
	阿波銀行県庁支店0823739		279,480
	阿波銀行鳴門支店1321341		37,200,520
	阿波銀行鳴門支店1287497		6,747,567
	阿波銀行鳴門支店1328750		1,108,825
	徳島大正銀行県庁支店5256772		5,041,880
	徳島大正銀行県庁支店8510019		6,804,603
	徳島信用金庫本店0574668		209,355
	大和ネクスト銀行ベンテン支店890267		467
	定期預金		
	徳島大正銀行県庁支店5256770		20,000,000
	大和ネクスト銀行ベンテン支店890267		85,256,117
現金預金合計			172,156,157
未収入金	公益目的事業会計		12,137,426
	収益事業等会計		988,898
	法人会計		0
未収入金合計			13,126,324
前払金			359,910
貯蔵品			96,102
流動資産合計			185,738,493
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	阿波銀行県庁支店278361	運用益を法人会計の財源として使用している。	72,952,400
定期預金	徳島大正銀行県庁支店5256770		35,551,028
定期預金	徳島大正銀行県庁支店5256770		3,000,000
定期預金	徳島信用金庫本店1303121		10,000,000
基本財産合計			121,503,428
特定資産	特定資産		0
その他固定資産	什器備品		1,751,709
	投資有価証券		15,000,000
	その他固定資産合計	徳島県債第2回(令和4年度)	16,751,709
固定資産合計			138,255,137
資産合計			323,993,630
(流動負債)			
未払金	公益目的事業会計		39,490,290
	収益事業等会計		668,800
	法人会計		7,920
未払金合計			40,167,010
預り金	公益目的事業会計	社会保険料(個人負担金)	2,879,685
	法人会計	社会保険料(個人負担金)	0
預り金合計			2,879,685
前受金			4,784,000
流動負債合計			47,830,695
(固定負債)			
固定負債合計			0
負債合計			47,830,695
正味財産			276,162,935

監査報告書

令和7年5月23日

公益財団法人徳島県スポーツ協会
理事長 田中 稔 殿

公益財団法人徳島県スポーツ協会

監 事 小 濱 一 夫 

監 事 重 清 佳 之 

監 事 原 寿 仁 

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

第1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

第2 監査の結果

1 事業報告等の監査結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 法人の業務の適性を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当であると認めます。また、当該体制の運用状況につき指摘すべき事項はありません。

2 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

徳島県表彰受賞者

社会福祉活動や保健衛生、産業、教育・文化などの各分野で優れた功績をあげられた方々を讃える令和7年度「徳島県表彰式」が6月3日に県庁で行われ、徳島県ソフトテニス連盟副会長の岸本正文氏が教育・文化の分野における顕著な功績が認められ、「徳島県表彰」を受賞されました。

◇令和7年度徳島県表彰受賞者（教育・文化）



徳島県ソフトテニス連盟

副会長 岸本正文氏

多年にわたり、徳島県ソフトテニス連盟の役員として、スポーツの振興に大きく貢献された功績が認められ、栄えある「徳島県表彰」を受賞されました。



新たにスポーツコーディネーターを迎えました!!

【スポーツコーディネーター活用事業とは】

県民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、スポーツを通じて県民の元気を創造する「スポーツ王国とくしま」の推進に向け、「国スポ順位の向上」や「生涯スポーツの普及発展」を目標にスポーツコーディネーターを派遣する事業です。

スポーツコーディネーターには、「**競技力向上担当**」と「**医科学サポート担当**」がありますが、今年度新たに「**競技力向上担当**」が1名加入しました。

競技力向上担当



森岡 さくら

専門競技種目 水泳（飛込）

令和7年度～在籍

〈飛込競技について〉

飛込は、一定の高さの飛込台から空中に飛び出し、着水までの一連の動作の技術、美しさを競う競技です。飛込台から着水までの間に様々な技を繰り出し、評価点を競います。着水時に水しぶきが上がらない入水をノースプラッシュと呼び、この入水を行うことが高い評価点へと繋がります。

飛込には、1mや3mの高さの飛び板から弾力性を利用して飛び込む飛板飛込と、5m・7.5m・10mの飛び込み台から飛び込む高飛込の2種目があります。飛板飛込や高飛込では、個人種目と2人一組で飛び込むシンクロナイズドダイビングがあります。

飛込競技は競技人口が少なく、あまり知られていない競技ですが、勝負を決するまでの時間がもっとも短い競技であり、わずか2秒弱という短い時間の中で回転をしたりひねりを加えたりする迫力のある競技です。

これからより多くの方々に飛込競技やスポーツの魅力を伝えていけたらと思います。

また、スポーツコーディネーターとして、競技力向上とともに、県民のスポーツの普及・スポーツを通しての健康づくりや健康意識の向上に取り組んでいきたいと思っています。



（公財）徳島県スポーツ協会では、加盟競技団体及び学校関係機関を対象に、運動能力やパフォーマンスを高める指導やスポーツ障害等に関する専門知識を持ったスポーツコーディネーターを派遣し、本県の競技スポーツの推進と競技成績の向上を図るため、スポーツコーディネーター活用事業を実施しています。スポーツコーディネーター活用事業に興味のある方は、ホームページ (<https://www.awa-spo.net/>) をご覧ください。

コーディネーターだより

FISU WORLD UNIVERSITY GAMES2025 (ワールドユニバーシティゲームズ)に参加して

森岡 さくら

私は、7月にドイツで行われたFISUワールドユニバーシティゲームズで3メートル飛板飛込と1メートル飛板飛込に出場しました。この試合は私にとって初めての世界大会でした。代表が決まってから試合までの3か月間は今までで一番自分自身と戦い、向き合った期間でした。

代表のユニフォームを着て会場に足を踏み入れた瞬間は、大きな緊張感と夢の舞台に立つことができる喜びを感じました。

会場での練習では、世界各地から集まった才能溢れる選手たちからたくさんの刺激と感動を受けた一方、ここで結果を残さなければならないという焦りや不安もありました。

3メートル飛板飛込予選の前日は、競技を始めてから12年間夢に見た舞台を1日で終わらせないよう、絶対に予選を通過し決勝で戦いたいと強く思いました。

3メートル飛板飛込の予選では、プレッシャーと緊張が入り混じる中で、自分の全力を出し切り自己ベストを更新することができました。初の世界大会で自己ベストを更新できたことを心から嬉しく思いました。

決勝では、予選よりいい演技をしなければならないという気持ちが強く、メンタルや体のコントロールが難しくなり12位という結果で試合を終えました。改めて世界で戦うことの難しさや他国の選手の強さを痛感しました。

1メートル飛板飛込では入水のブレが激しく、まとまった演技を行うことができず20位になり決勝へ進むことができませんでした。

結果としては、目標に届かなかった部分に悔しい思いが残りましたが、世界の舞台で戦えたことは自分にとって貴重な経験となりました。

特に印象に残っているのは、他国の選手からの応援の声や拍手です。試合終わりには様々な国の選手やコーチから励ましの言葉をもらえたことが心から嬉しかったです。大会を通じて、人種や国籍に関係なく、同じ目標に向かって努力しているからこそ繋がることのできる素晴らしさを感じました。

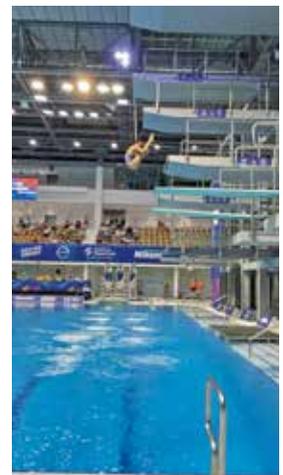
また、海外の選手と交流する中で、異なる文化や価値観に触れ自分自身の視野を広げることができました。

日本代表選手に選考していただき、人として成長できたように感じます。

また、今回得られた経験を通して、さらに成長していきたいと思えます。

これまで支えてくださった多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、今後もこの経験を糧に、新たな挑戦に向けて歩んでいきたいと思えます。

結果：3 M 予選274.40点 5位
 決勝204.30点 12位
 1 M 予選182.10点 20位



トピックス

日独スポーツ少年団同時交流について



本交流は、「ドイツ連邦児童青少年計画の基準および日本スポーツ少年団の育成計画に基づいた一般青少年教育を促進すること」また、「本交流に参加する若者たちが、両国の文化・社会・政治・経済を知ることにより、友好と親善を深め、グローバル化した世界において、自分の現況と立場を認識する能力を身につけること」を目的に1974年以来実施されてきました。これまでに両国を合わせて、1万2千

人以上の青少年と指導者がお互いの国を訪れて、それぞれの国の人々やスポーツ、文化に触れる機会を得ています。本交流は、一般青少年交流であり、「みんなのスポーツ」が重点的に扱われます。異なる文化・言語を持つ双方の団員たちにとって、スポーツは「共通言語」といえることから、交流目的を達成するための手段として、スポーツが適切なかたちで積極的に取り入れられています。現在は、2023年に締結された日独スポーツ少年団国際交流協定書〔2024～2027年〕に基づいて、両国参加団員の夏季休暇期間中に、移動日を含めて最大16日間で実施されています。派遣団の規模は最大100名（団長団、引率指導者、団員）で、日本団は11グループ、ドイツ団は12グループに構成されます。交流プログラムには、日本スポーツ少年団（JJSA）およびドイツスポーツユース（dsj）が直轄する全体プログラムと、各グループがそれぞれのパートナー（道府県スポーツ少年団、dsj加盟団体）を訪問する地方プログラムがあります。地方プログラムで実施されている民泊（ホームステイ）は、訪問国の人・文化・生活を理解するうえで非常に重要な要素となっています。また、本交流の目的達成と研修成果をより大きなものとするため、「交流テーマ」が設定されており、両国参加団員の研究課題とするとともに、交流期間中を通して様々な形態と方法によってテーマに関する学びが深められています。参加者は、目的を達成するために、各自自己研鑽に努めることはもちろん、JJSA および dsj がそれぞれ実施する事前研修会に参加して、訪問国への理解を深めながら交流の準備を行います。



本交流 25 周年にあたり
JJSA によって作成されたシンボルマーク

【日本団派遣の様子】

《全体プログラム》

交流のはじめと終わりに、dsjが直轄するプログラムが設けられています。近年の日本団は、ミュンヘンから交流をスタートしています。市庁舎への表敬訪問や市内散策、テーマに関する講義やディスカッションなど充実した内容でドイツの生活が始まります。ミュンヘン市内散策では、各グループに与えられたミッションをクリアしていくことで、町の様子やドイツの文化の



ミュンヘン市庁舎前 第51回日本団

ことなどを知ることができるような工夫が凝らされています。dsjの青年ボランティアスタッフの方々と一

緒に散策することで、長旅の疲れが癒され、交流に対する緊張もほぐされていくように思います。

地方プログラムを終えると、各グループはフランクフルトへ集結し、交流のまとめを行います。地方で実施したテーマディスカッションの内容や、見つかった課題、また印象に残った点などを報告し、次年度以降の交流が更に良いものになるように日独双方で共有します。フランクフルト市内の自由研修やスポーツプログラムも実施され、残り数日となった交流を満喫します。



交流テーマ SDGs x Sport について

《地方プログラム》

現在の協定書においては、右表のようにパートナーが編成されており、四国グループは、ラインラント＝プファルツで受入れをいただいています。期間中に2家庭での民泊が計画されることが多く、中1日をユースホテルなどで宿泊することもあります。ホストファミリーは、団員や指導者を家族の一員として温かく受け入れて下さり、ドイツでの生活を体験させてくれます。滞在する町によって、プログラムは異なりますが、スポーツ活動だけではなく文化交流、お城やワインセラーの見学などもあつたりします。公式レセプションを開催してくれることも多く、時によってはその様子を地方新聞に掲載してくれることも珍しくありません。本交流の認知度としては、日本におけるそれよりもかなり高く、交流

日独スポーツ少年団同時交流/パートナー編成表(2024-2027年)

No.	グループ	日本の拠出地	ドイツのパートナー	定員
1	北海道	北海道	ベルリン、フランクフルク	6
2	東北	青森県、岩手県、秋田県	シコレスヴィヒ・ホルンシュタイン 律儀	8
3	関東	宮城県、山形県、福島県	バイエルン	8
4	関東	栃木県、群馬県、千葉県、山梨県	東道	8
5	関東	茨城県、埼玉県	メクレンブルク・フォアポンメルン ヘッセ	9
6	北関東	長野県、新潟県、群馬県、山梨県、埼玉県	スキー 海バーデン	10
7	東海	静岡県、愛知県、三重県、岐阜県	ヴェルデンベルク	9
8	近畿	滋賀県、京都府、兵庫県、大阪府、奈良県、和歌山県	潜水 重要甲子 フエンシング モータースポーツ	12
9	中国	兵庫県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県	ザクセン・アンハルト ザクセン	9
10	四国	高知県、徳島県、愛媛県、香川県	ラインラント＝プファルツ	9
11	九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	ノルトライン＝ヴェストファーレン デュース	9
12	連携団	日本スポーツ少年団	ドイツスポーツユース	3
合計				100

の成果も高く評価してくれていることを感じます。スポーツ活動では、射撃やフェンシング、カヌーやダイビングなど日本ではなかなか体験できないような種目が用意されていることも多いです。町を移動するときには、さよならパーティーが開かれ、レクリエーションや食事を楽しみながら別れを惜しみます。短い期間ではありますが、様々なプログラムをともにすることで、言語の壁を越えて深い絆が生まれたことを感じる瞬間でもあります。



地方プログラムさよならパーティー 四国グループ

【わたくし事です】

私自身の本交流との関わりは、1980年にホストファミリーを経験したことが始まりです。今のように翻訳機もない時代、言葉も通じないドイツ団員の青年とのコミュニケーションにかなり苦勞しながらも、スポーツ活動などを共にして心が通じた記憶です。1986年に兄が日本団員として派遣され、帰国後に聞かせてくれたいろいろなお土産話に「絶対私もドイツに行きたい！」との思いを抱き、シニア・リーダースクールに参加、1988年に念願の派遣をしていただきました。当時は、シニア・リースクを終了していることが派遣の絶対条件であり、定員125名の枠以上に参加希望がありました。初めての海外、初めてのホームステイに、小さな不安と大きな期待を胸に旅立ったのを覚えています。ホスト家庭の双子兄妹とは、お互い勉強中の英語を使って、辞書を片手に交流を深めました。スポーツ交流や文化交流は、言葉の壁を越えて私たちの心をグッと引き寄せてくれました。帰国後も手紙をやり取りし、学校生活や夢について語り合いました。大学卒業旅行で再び町



を訪れて再会を果たしましたが、その後は、就職や結婚・子育てを経てお互いに忙しくなり、連絡が途絶えてしまっていました。2016年の交流に四国グループ指導者として派遣されることが決まり、古い記憶を頼りに手紙を書きました。事前に分かった滞在先とプログラムを知らせ、どうか会えますように、と祈る思いで現地へ入りました。そして、最初の町でのさよならパーティーの日、ステイ先のお母さんや通訳さんの助けもあり、感動の再会



1988年 Harxheim にて

を果たすことができました。実に22年ぶりの再会に

「お互いおばちゃんになったね」と笑いました。会わない時間は長くとも、一瞬であの頃の感情が蘇り、出会えたことの喜びを感じあいました。それからは、メールで容易に連絡を取り合うことが出来るようになり、昨年の交流に参加した時にも再会することができました。この兄妹の他にも、1988年のドイツ団として来日し、私の実家に滞在したヘルムート・ランゲ氏とは、出会いから37年の時を経てもなお、変らぬ友情で結ばれています。彼は毎年ドイツの地で、四国グループだけでなく日本団全体のサポート



2024年 ヘルムート・ランゲ氏と



2016年 Bad-Sobernheim にて

をしてくださっています。その他、dsjの日本部会のスタッフの皆さんも本交流の目的達成に向けて様々なサポートをしてくださっています。

【未来にむけて】

本交流がスタートして半世紀が過ぎています。この間に時代は大きく変化し、交流の期間も短く、また、定員も少なくなっているにも関わらず、定員が満たない年が続いています。第52回からは、スポーツ少年団からだけではなく、総合型スポーツクラブや大学・大学院からの参加が可能になりました。青少年期は、心身ともに大人へと大きく成長する時期であり、そのような時期に国際交流を行うことは、青少年の人格形成に大いに影響を及ぼすものと考えられます。多くの人と関わって様々な体験をすることが、自分がどのような人間であり、どう生きるべきなのかを確立していく上で大変重要であると思います。スポーツ少年団の団員の皆さんにはもちろんですが、指導者や保護者の皆様にも本交流についてぜひ知っていただき、定員いっぱい若者に体験をしていただきたいと願っています。

インターネットで世界中がつながって、リモート会議ができる時代になりましたが、リアルに繋がる感動を若い世代の方々にも感じてもらいたいと思います。私たちの友情は、ほんの小さな一歩でも、一歩一歩がつながって、他者理解や異文化交流の礎になれば幸せです。本交流で得た、人と人との関わりが一番の宝物であると感じています。

徳島県スポーツ少年団本部委員会委員 田中 久美

「日独スポーツ少年団同時交流」ってなに？



第52回日独スポーツ少年団同時交流

本交流は、日独両国のスポーツ少年団の青少年および指導者の相互交流により友好と親善を深め、国際的能力を高めると共に、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的として実施しています。令和7年度は吉野川市で受入れを実施し、同時に徳島県から指導者1名、団員2名をドイツに派遣しました。

*** 受入 ***

【プログラム受入日程】

1. 全体プログラム（前半）
期間：2025年7月31日（木）～8月4日（月）
2. 地方プログラム
期間：2025年8月4日（月）～8月8日（金）徳島県吉野川市
8月8日（金）～8月12日（火）香川県丸亀市
3. 全体プログラム（後半）
期間：2025年8月12日（火）～8月14日（木）

第52回（令和7年度）の受入れは、ドイツのニーダーザクセンから、指導者1名、17～20歳の団員7名を迎え、4泊5日のプログラムを吉野川市等で実施しました。

日独同時交流（受入）に参加して

田中 遼人

「続けていくことで、自分自身の財産になる。」今回の受け入れを終えて改めてそう実感しました。小学生のころからスポーツ少年団活動を続けてきた私にとって、この交流は、新たな出会いや学びを重ねる大切な機会です。2018年に日独同時交流でドイツに行かせてもらってから、今までの間に数えきれないほどの気づきを与えてくれています。これまでの交流においても、素敵な出会いが沢山あったことから、今回もどのような出会いがあるかとても楽しみにしていました。

今回の受け入れでは、日本文化を深く体験でき



るものが多くありました。特に、座禅や精進料理は、普段の生活の中ではなかなか触れることができないものであり、ドイツ団のメンバーが真剣に日本文化に向き合う姿に感銘を受けました。座禅では、慣れない姿勢に耐えながら静かに心を整えたり、精進料理を食べる際には、慣れない作法に戸惑いながらも丁寧に取り組んだりする姿から、相手の文化を尊重し大切にすることを強く伝わってきました。また、弓道や書道では、思うようにできなくても挑戦する姿勢や楽しむ姿勢を持ちながら活動を行う姿から、挑戦を楽しむことの大切さを学びました。この、真摯さや何事も楽しむ姿勢は、スポーツ交流の場面にもそのまま通じるものであると感じました。相手の立場や状況を尊重しつつ、自分自身も挑戦を恐れず取り組むことは、年齢、性別、国籍関係なく大切なことだと気づかされました。

交流を重ねるたびに、私は多くの知識や多様な視点を得ています。特に今回は、指導者資格を取ってから初の参加だったこともあり、指導者という新たな視点を持って活動に参加することができました。今回の受け入れでは、ドイツ団の指導者 Tim がホームステイしたこともあり、様々なことを学ぶことができました。Tim は、常に明るく前向きで、どんなことにも挑戦する姿がとても印象的でした。文化や言葉の違いがあっても臆せず挑戦する姿は、子どもたちだけでなく指導者にとっても大切なことだと気づかされました。加えて、予期せぬ状況にも柔軟に対応し、常に温かい声掛けを行い、笑顔を絶やさない姿は、自分が理想と思う指導者そのものでした。子どもたちが迷ったり、困ったりしている場面でも支え、励まし、見守る姿から多くのことを学びました。こうした姿を間近で見られたことは、私にとってとても貴重な経験でした。自分自身が、指導者として活動を行っていくときも、Tim のような明るさや柔軟さ、そして子どもたちに寄り添う心を持ちたいと強く感じました。

今回の交流を通し、改めてスポーツ少年団の活動の魅力や可能性を感じました。今後は、より多くの人にこの活動を広めるとともに、日独同時交流で学んだことを団員やリーダーたちに伝えていきたいと考えています。そして、指導者として日独同時交流派遣に参加し、次の世代に新たな出会いや学びを繋げていけるように努めていきたいです。



出会いに感謝 Danke !!

住友 弥佳

市役所に勤めている知り合いの紹介で、ホストファミリーの話を知りました。聞いた瞬間に面白そう!! と思い、高1の娘や同居している家族に相談しました。家族はすぐに留学生の受け入れを快諾してくれました。また、普段できない貴重な体験をさせて下さった関係者の皆様ありがとうございました。

初めの自己紹介をマライケとフィオナは日本語で、私たち夫婦はドイツ語でしました。たどたどしいお互いの国の言語でのあいさつのおかげもあり、みんなが笑顔になり一気に仲が深まったと思います。我が家についてからは、てんぷらやカレーを食べながらお互いの国のことをたくさん話しました。96歳の祖母にとっては初めてのドイツの子たち。3人のやり取りを見るのはとてもほほえましかったです。

2日目の夜、家に帰って来てから昼間のプログラムの話を、写真を見せながら楽しそうに話してくれました。また、娘とも英語でお互いの国の学校の事、流行っている音楽などの話など、若者同士で盛り上がっていました。一緒にコンビニで買い物して、アイスを食べながら近所を散歩もしました。最終日のさよならパーティーの後、鴨島の花火大会にも行き、かき氷を食べたり、ヨーヨーすくいもしました。近くで見える花火にも大興奮の2人。日本の夏祭りも一緒に楽しめてよかったです。

とてもステキで好奇心旺盛なマライケとフィオナ。我が家に来てくれてありがとう。たった3日間だったけど2人のことが大好きになりました。娘や主人と連絡先を交換したので、ドイツに帰ってからメールのやり取りをしています。この出会いを大切にこれからもずっと交流していきたいと思っています。

第52回日独スポーツ少年団同時交流（受入）報告

吉野川市

吉野川市では、令和7年8月4日から7日にかけて、ドイツ・ニーダーザクセン州からの訪問団をお迎えしました。体調不良により、1名が来県できなかったことは大変残念でしたが、残る8名との交流は、非常に有意義で充実したものとなりました。

吉野川市スポーツ少年団として、海外の訪問団の受け入れは初めてのことです。当然不安もありましたが、どんなプログラムであれば吉野川市の文化や自然を体感してもらえるのか、また、ホームステイでの受け入れに協力していただける家庭があるかどうか手探りで準備を進めました。その結果、4家庭の皆様がホストファミリーとしてご協力いただき、心のこもった受け入れ体制を整えられました。本事業を無事に終了できたのは、ひとえに関係者の皆様のお力添えがあったことです。ホストファミリーの皆様、通訳の竹内様、徳島県スポーツ協会の福井様をはじめとする関係者の皆様、改めて心より御礼申し上げます。

1日目は徳島空港でドイツ団をお迎えし、市役所に移動して県市合同受入式を開催しました。インター

ネットで調べたところ、ニーダーザクセン州の8月の平均気温はおおよそ18℃から19℃、湿度は平均して70%前後であり、徳島県と比較すると非常に過ごしやすい気候です。そのため、時差や暑さによる体調不良を心配していましたが、ドイツ団はとてもエネルギッシュで、滞在中のプログラムを楽しみにしている様子がうかがえました。

2日目は伝統工芸の和紙づくり体験から始まりました。ドイツ団にとって初めての体験で、水槽の中で簀を前後左右に揺らし、繊維を均一に広げる紙漉きの工程では特に苦戦する様子が見られました。そんな中、チーム団長の手際の良さに驚かされましたが、実は過去に3回経験したことがあるのだとこっそり教えてくれました。苦戦していた団員たちも職人の方の説明に真剣に耳を傾け、質問を交えるうちにコツを掴んだようで、それぞれが個性的な作品を仕上げていました。皆さんのやりきったような表情を見てみると、こちらまで嬉しい気持ちになりました。続いて訪れた醫光寺では、坐禅や書道、精進料理といった体験型の活動に加え、剣道の見学などプログラムが目白押しでした。特に好評だった書道体験では、住職のお手本を参考に、のびのびと作品作りに取り組みました。中でも印象的だったのはユリアさんの作品で、風の流れを曲線で表現するなど、型にとらわれない自由な発想が光っていました。最後は表面に自身の作品を、裏面に醫光寺の御朱印を貼り付けて、世界に一つだけのオリジナルうちわが完成。お世話になった日和田家の皆様とうちわを片手に記念撮影を行いました。この日の締めくくりとなった地元高校生との弓道体験は、気温・湿度ともに高く、厳しい環境下で実施されましたが、高校生たちが射位に立つ独特の緊張感に暑さも忘れて見入り、見事的を捉えると、大きな歓声を上げていました。その後の試射では、惜しくも的を捉えることはできませんでしたが、高校生から教わったコツを参考に際どい位置を射貫く場面もありました。

3日目は独自の文化や自然が残る美郷地区を訪問しました。蛍の生息地として知られる川田川での川遊びでは、団員の監視に徹すると口にしていたチーム団長が真っ先に川に入り、水鉄砲で団員たちを攻撃して最高潮の盛り上がりを見せていました。泳いだり、川の生き物を捕まえたりしてひとしきり遊んだ後は、流しそうめんとおにぎりでおなかを満たしました。おにぎりは徳島県名産の大野のりや美郷地区名産の梅をはじめ、昆布や鮭フレークなど好きな具材を混ぜ込むことができるセルフ形式で、思い思いの具材を楽しめるため大変好評でした。流しそうめんは、慣れない箸でつるつるとした麺を掴むのが難しかったようで、取りこぼすたびに全身で悔しさを表現していました。スポーツ少年団との交流では、特定非営利活動法人おえっこスポーツクラブの皆様にご協力いただいて車椅子バレーと車椅子バスケットを行いました。最初こそ慣れない車椅子の操作に手こずっていたものの、瞬く間にコツを掴み、小回りの効いたターンや素早いパスで相手陣営を翻弄していました。言語面での不安もありましたが、スポーツ少年団にはローマ字表記のピブスを、ドイツ団にはカタカナ表記



のピブスを配布したことが功を奏し、互いに名前を呼び合いながら見事なチームワークを発揮していました。さよならパーティーでは、日独それぞれが趣向を凝らしたパフォーマンスを披露しました。鴨島鳳翔太鼓の演奏では、和太鼓の迫力のある音とキレのあるバチさばきに、ドイツ団のメンバーも興味津々の様子でした。ドイツ団のパフォーマンス「Head Shoulder s Knee s & Toes」では、徐々にスピードが上がる展開に年齢も忘れて心から楽しむことができました。パーティーが終わる頃には鴨島花火大会の花火が打ち上がり、日本の夏の風物詩を一緒に味わうことができました。

4日目は吉野川市でのプログラムではありませんでしたが、徳島県の伝統芸能である阿波踊りを是非体験してほしいという思いから、きらく連をお招きして阿波踊り体験を組み込んでいただきました。ドイツ団のメンバーは、男踊りの力強さや女踊りのしなやかさに戸惑いながらも、交流のひとつときを楽しんでいました。最後は参加者全員で輪になって踊り、心地よい汗を流しました。

5日目はいよいよドイツ団が徳島を発つ日でした。交流の日々を思い出すと、寂しさがこみ上げてきましたが、ドイツ団の中には、受入式でプレゼントした記念Tシャツを着てくれている団員や、さよならパーティーで贈った「ヨッピーとピッピー」の人形をリュックに付けてくれている団員の姿があり、とても嬉しく温かい気持ちになりました。

一事務局員として携わらせていただいた本交流事業でしたが、新しい発見や驚きの連続で、刺激的で忘れられない思い出となりました。今後さらにグローバル化が進むことで、国際交流もより一層活発になると考えられます。しかし、異文化を理解し尊重する姿勢を見誤れば、その道はたちまちに閉ざされ、得られるはずだった友情や知見も失われてしまうかもしれません。文化とは、様々な要因が複雑に絡まり合って形成されるものです。異なる文化を理解するというのは決して容易なことではなく、その方法についてもいまだ明確な答えは見つかっていません。では、国際理解は夢のまた夢なのでしょうか。

私はそのヒントがスポーツにあると考えます。今回の交流を通して、スポーツが国籍や年齢の違いを越えて人々を結びつける瞬間を何度



も目の当たりにしました。スポーツには人々の心震わせ、時に涙させる不思議な力があります。そして、その感動に国境はありません。スポーツには世界を繋ぐ力があり、それこそが国際理解を育む原動力なのではないでしょうか。吉野川市スポーツ少年団の児童生徒にとっても、これまで漠然としていた「世界」という存在が、本交流を通じて確かな具体性をもって芽生えたはずです。別れ際にティム団長からいただいた「この交流はここで終わりではなく、今後のつながりの足がかりとなってほしい」という力強いメッセージのとおり、この交流での出会いがいつか大きな流れを生むことを願っています。

*** 派遣 ***

【期日】 2025年7月30日（水）日本発／ドイツ着

～8月13日（水）ドイツ発／14日（木）日本着

日本団事前研修会：5月17日（土）～18日（日）（オンライン／全員参加）

日本団集合・結団式：7月28日（月）～29日（火）

〔国立オリンピック記念青少年総合センター〕

【参加人数・グループ編成】

日本団：70名〔8グループ67名（団員57名、引率指導者10名）、団長団3名〕

【共通テーマ】

「スポーツ×SDGs」～スポーツが拓く社会の持続可能性～

徳島県からは、四国グループの引率指導者として1名、徳島県スポーツ少年団リーダー会の2名が参加しました。

四国グループは、ドイツのラインラント＝プファルツの各町を訪問しました。ホストファミリーに温かく迎えていただき、ドイツで学んだこと、感じたことをご紹介します。

日独同時交流（派遣）に参加して

石井リーダースポーツ少年団 田中 誠人

私は、第52回日独スポーツ少年団同時交流に参加し、ドイツでの貴重な体験をさせていただきました。この交流を通じて、異文化交流の大切さや、スポーツを通じて国境を越えた友情が育まれることを実感しました。

ドイツに行く前は、楽しみもあったのですが、コミュニケーションがとれるのかという不安な気持ちでいっぱいでした。ドイツに着いたらドイツの皆さんはとても親切で温かく迎えてくださいました。着いてからは不安な気持ちが無くなりわくわくや楽しみの気持ちに変わり強まっていきました。言葉の壁もありましたが、笑顔やジェスチャーを交えながらコミュニケーションをとることで、次第に打ち解けることができました。スポーツの場では、言葉を越えた協力や励まし合いの大切さを学びました。



全体プログラムでは、表敬訪問が無くなりとても残念でしたが、ドイツで強豪サッカーチームのバイエルン・ミュンヘンの本拠地であるアリアンツアレーナに見学に行くことになりました。そこでは、選手が使っているロッカールームや会見をする場、選手が入場する時に降りる階段のところなどが見学できました。アリアンツアレーナの記念博物館の見学もでき、バイエルン・ミュンヘンの歴史に触れることができました。あとは、各班で市内を探索しつつ各場所でのミッションをクリアしてくるというオリエンテーリングでした。そこでは、建物のことなどが知れました。また、現地の文化や生活様式に触れることもでき、ドイツの歴史や伝統についても理解を深めることができました。

地方プログラムでは、一か所目にオッターバッハ、カイザースラウテルンに行きました。柔術の少年団チームのところに行きました。二か所目では、ブライという場所に行きました。地方のプログラムでは、お城や教会の見学、地下ワインなどの見学などをしました。お城の見学をして、歴史の深さに圧倒されました。特に、城の建築様式や装飾の美しさに感動しました。中に入ると、当時の生活や戦略的な役割について想像を膨らませることができました。



ドイツの様々な歴史と文化に触れることができよかったですと思いました。

スポーツ交流では、カヌー体験や裸足でウォーキング、フォレストアドベンチャー、トランポリン施設などに行ってスポーツをしました。スポーツを通じて、言葉の壁を越えたコミュニケーションやスポーツに真剣に取り組む中でも仲間と楽しみながら競技をしているなど感じました。何事でも楽しみながら



することが大切なのだと改めて思いました。

スポーツ交流は、言語や文化の違いを超えた深い絆を築く素晴らしい手段だと実感しました。

また、ドイツのスポーツ少年団はSDGs（持続可能な開発目標）とスポーツの連携についても積極的に考えていました。スポーツを活用した教育や環境保護、健康促進などの取り組みは、持続可能な社会の実現に大きく貢献するという考えに深く共感しました。また、ディスカッションを通じて、

ドイツの現状や日本の現状について発表しあい具体的なアイデアをお互い出し合いこれからのことについて自分たちができることを話し合ってきました。

さらに、ホームステイでは、多くの貴重な経験を得ることができました。最初は、不安でいっぱいだったのですが、家族の方々は非常に温かく迎えてくださり、すぐに打ち解けることができました。日常生活の中で特に印象に残ったのは、朝食の時間です。ドイツの家庭では、パンやハム、チーズ、ジャムなどが並び、家族みんなでゆったりと食事を楽しむ習慣があります。家族の会話も自然と弾み、文化や日常の出来事について教えてもらいました。家族の方々は私の意見や希望にも耳を傾けてくれ、休日には一緒に観光などを案内してくれました。これにより、ドイツの文化や習慣を深く理解することができました。ホームステイは言語だけでなく、生活習慣や価値観を学ぶ絶好の機会でした。家族の温かさや文化の多様性を実感し、非常に充実した時間を過ごすことができました。

私は今回のドイツでの活動を通じて、多くの貴重な経験を積むことができました。現地の文化や環境に触れることで、国際的な視野を広げることができました。現地の人々と交流し、異文化の理解やコミュニケーション能力を向上させることができました。



今後は、これらの経験を活かし、リーダー会活動でのコミュニケーションの取り方やスポーツ交流の仕方などに活かしていきたいと思います。具

体的には、ドイツで得た知識や人脈を基盤に、活動をできたらと考えています。また、言語や文化の壁を越えた協力関係を築き、より多くの国々と連携していくことを目標としています。

この交流を通じて、私は異なる背景を持つ人々と協力し合うことの重要性や、多文化理解の大切さを実感しました。今後もこの経験を生かし、国際交流やスポーツを通じて多くの人とつながり、互いに成長していきながらスポーツ活動を頑張っていこうと思います。



日独同時交流（派遣）に参加して

石井リーダースポーツ少年団 安部 颯汰

今回のドイツ訪問では、ホームステイを通じて現地の人々と交流し、観光を通して歴史や文化にも触れることができました。

ホームステイ先はとても優しく、ミュージアムなどに連れて行って下さり楽しい日々はあっという間に過ぎてしまい、又行きたい気持ちでいっぱいになりました。

特に印象に残っていることは、ドイツの団員達とSDGsについて話し合ったことです。僕たちが取り上げたテーマは「すべての人に健康と福祉を」でした。ドイツ側の人たちは、だれもが安心して医療を受けられる社会の大切さや、高齢者や障害のある人が暮らしやすい仕組みについて回答してくださいました。ドイツでは福祉制度が整っており、社会全体で支えあう意識が強いことを知り、日本との違いを考える良い機会となりました。

観光では教会を訪れたことが一番心に残っています。教会をあまり見たことがなかったため教会の大きさや美しいステンドグラスに圧倒されました。信仰を大切にす文化に触れることで、こころの安らぎや、支えも「健康と福祉」に深く関わっているのだと感じました。今回の体験をとおして、健康と福祉とは単に病気をしないことではなく、心も体も安心して暮らせる社会を作ることだと学びました。ドイツでの学びを忘れず、日本で自分にできることを考えて行動していきたいです。

そして、もっと英語を勉強し世界とつながる力を身に付けたいと思いました。



トピックス

第47回全国スポーツ少年団剣道交流大会に参加して

去る令和6年12月1日（日）に実施しました徳島県スポーツ少年団剣道交流大会において、団体戦で優勝しました阿南市Aチームと、個人戦（中学生男子・女子の部）で優勝しました2名が、令和7年3月28日（金）～30日（日）に、大分県のレゾナック武道スポーツセンターにて開催されました「第47回全国スポーツ少年団剣道交流大会」に徳島県代表として出場し、優秀な成績をおさめられましたので御紹介します。



【個人戦（男子）敢闘賞】

養武館 柏原 健 人

結果は、予選リーグを1位で通過し、決勝トーナメント初戦で鹿児島県代表の島田選手に延長戦の末に敗れ、ベスト16の成績に終わった。悔しかったが、各都道府県でトップを争う剣士との交流と真剣勝負、さらに小学生団体優勝に立ち会えたことが自分の目標を叶える希望となり、いい経験となった。この大会をとおして、指導して下さった先生方や家族に改めて深く感謝の念を抱いた。これからも全国で戦えるよう、より一層努力していきたい。

【個人戦（女子）敢闘賞】

徳島少年剣道教室 茨木 里 音

私は全国スポーツ少年団剣道交流大会に出場して、全国の名選手と戦い多くの事を学びました。緊張の中で力を出し切り、リーグ戦を突破した事や全国に多くの仲間ができた事、自分の力で全国に通用すると知れた事などまだまだ学んだ事はたくさんありました。

こんな貴重な経験ができたのも、ご指導して下さった先生方や支えて下さった方々のおかげです。今後は、支えて下さる方々へ感謝し、結果で恩返しできる様に頑張ります。

【団体戦優勝】

監督 徳島剣清塾 河田 清 実

阿南市チームは、一昨年ベスト8、昨年は第3位とすばらしい成績でしたので、多少プレッシャーを感じていました。予選リーグの対戦相手が静岡と兵庫という強豪に決まった時、何とか競り勝ってベスト16に

残り、子供達に敢闘賞を取らせてあげたいと決意を新たにしました。そこで強化計画を作成し、他の道場の6年生男子2名の指導者の了承を得て、県外の有名な道場の主催する錬成大会に参加したり、阿南市の指導者の先生方と計画して、県外のスポーツ少年団の代表チームを集めて阿南市で練習試合を実施しました。又、私が指導している道場に週2、3回集まって来てもらって合同稽古を実施して、選手間の交流を通して仲間意識やチームワークが構築できるように努めました。大会では、予想通り接戦の連続でしたが、チームワークで競り勝ち、決勝戦では1対1の大将戦で終了間際に擦り上げ面が決まり、感動の瞬間を味わうことが出来ました。

全国優勝という夢のような、偉業を成し遂げた子供達、そして子供達を支え、協力していただいた保護者、各道場の指導者、阿南支部の先生方に心より感謝を申し上げたいと思います。

徳島剣清塾 岩 浅 詩

私は、第47回スポーツ少年団剣道交流大会に徳島県代表として参加しました。

大分県で開催され、全国からたくさんの剣道の仲間が集まりました。

そこで、徳島県ではじめて、全国優勝をすることができました。

決勝戦では、「絶対、2本取ってくる。」と強い気持ちで戦うことができました。

優勝できたことも、うれしかったです。私がこの大会で一番うれしかったのは仲間の大切さを知ることができたことでした。

チームのみんな、中学生の代表の二人、保護者、他の県の剣友。一緒に戦い、はげましあって、よろこびあえたことは、私の一生の宝物となりました。

この経験を生かし、これからも仲間を大切に、自分を信じてたくさんの事に挑戦していきたいと思いました。

那賀川剣道教室わかあゆスポーツ少年団 大 西 光

第47回全国スポーツ少年団剣道交流大会に出場して

試合会場に行くまでは、初めての全国大会だったので緊張していました。大会1日目の交流大会では、いろんな県の選手と話をして友達になったりしたので緊張がとけました。試合ではどのチームも強い選手ばかりで苦戦しましたがチームの仲間がとられてもとりかえしてくれたり応援してくれたので最後まであきらめず強い気持ちで戦うことができました。チームで一つ一つの試合をつなぐことができ、優勝できたことは本当に嬉しかったです。今まで支えてくれた先生方や剣道の仲間や保護者に感謝したいです。全国大会で強い選手をたくさん見て僕ももっと練習してもっと強くなりたいと思いました。

徳島剣清塾 高 橋 明 里

私は、初めての全国大会で、優勝することができ、とても嬉しいです。全国大会では、プレゼント交換やレクリエーションなどの交流があり、新しい友達が出来ました。試合では、緊張しましたが、仲間の応援が心の支えとなり、自分の力を発揮することができたと思います。この全国大会で、チームの仲間との絆がさらに深まり、チーム力で掴んだ優勝であり、一生の大切な思い出となりました。

ご指導して下さいました先生方、共に戦った仲間、道場の仲間、いつも支えてくれている保護者の皆様にとっても感謝しています。この経験をいかして、これからは自分の剣道に自信を持ち、さらに頑張っていきたいと思っています。

徳島剣清塾 野村拓未

第47回全国スポーツ少年団剣道交流大会に参加して

初めての全国大会に出場したことで、徳島県や道場、学校の友達や地域の皆さんに支えていただいていることを強く感じました。全国の大きな会場の空気と、レベルの高い選手に圧倒されてしまいそうでしたが、お互いに助け合ってきた仲間と心をつなげて、自信を持って試合に臨むことができました。全国大会優勝、徳島県初の日本一になれたのは、先生方や皆さんの支えのおかげです。ありがとうございます。この経験を誇りに思い、これからも目標に向かって前進していきたいと思います。

徳島至誠館 宮武颯詩

全国大会ということでも緊張していました。

しかし交流大会では他県の選手と仲良くなれ、試合では緊張はなく、勝負を楽しむことができました。優勝出来たことは嬉しいですが、最高の仲間とこの大舞台で戦えたことが最高の思い出です。

ゴールではなく、節目として、また新しい目標に向かってスタートしたいと思います。この大会で心から感じることでできた「感謝」の気持ちを忘れずに、今まで出会った方々、そしてこれから出会う色々な方々との出会いを大切に人として成長していきたいと思います。



加盟団体だより

～みんな、頑張っています～

徳島県ウエイトリフティング協会

ウエイトリフティング（Weightlifting）競技の由来と考えられるのは、重い石や米俵を持ち挙げて、力比べが行われていたという資料は各地に残されています。その中で、今のようなバーベルを用いて競技が行われるようになった経緯については、確かな記録は残されていないが、1933年（昭和8年）に嘉納治五郎IOC委員が、ウィーン会議の帰途に、バーベルを購入し競技の普及発展に尽力した事が、記録に残っており、これが競技の始まりと思われま

す。昭和21年には、徳島市内で講習会が開催され、その後参加者らが練習を開始し、国民体育大会へ出場し入賞者を輩出しました。その後、昭和24年4月に当協会が発足され、昭和29年には、記念となる第1回全国高校総合体育大会を徳島市で開催し、その後3回（徳島市・鴨島町・上板町）開催され、国民体育大会も平成5年に藍住町で開催されました。

競技力については、オリンピック選手を3名輩出し、全国大会でも優勝を始め数多くの入賞者を輩出し、過去5年に目を向けると、日本中学生新記録を含め、

全日本選手権で県出身者が優勝を飾り、高校の全国大会では男子が優勝や、女子においても準優勝など輝かしい成績を残しています。

生涯スポーツとしてのマスターズ大会へ出場した選手においては、マスターズ日本新記録を更新するなど、ウエイトリフティングが生活の一部となり、生活の活力になっています。

国民スポーツ大会（国民体育大会）でも、毎年多くの得点を獲得することができます。これも、関係者のご努力と県スポーツ振興課からの支援のお陰と感謝しています。

また、2027年には、WORLD MASTERS GAMES 2027 KANSAI を鳴門・大塚スポーツパーク アミノバリューホールで開催が予定されています。当協会においては、開催に向けて準備を進めているところです。

最後に、近年「筋力トレーニング」がブームとなり、各所でトレーニング施設が開設されています。当協会も競技の普及と競技力向上を目的に、「小学生から成年まで」を対象に、ウエイトリフティング教室を開催しています。

一度体験してみませんか。QRコードで詳細が確認できます。

お申し込みをお待ちしています。



全国高校総体歓迎看板



教室案内 QR コード

加盟団体だより

～みんな、頑張っています～

徳島県アーチェリー協会

生涯スポーツであるアーチェリーで心も身体も健康に！

私たちは、全日本アーチェリー連盟の掲げる理念【3つのF】

- Fairplay：互いを尊重し、公正かつ誠実に行動します。
- Friendship：老若男女、ハンディキャップ、国境の壁を越えて、仲間を増やします。
- Fightingspirit：目標に向け、日々の研鑽を惜しまず、自己を成長させます

のもと、集中力を高めるとともに精神のみならず健康維持増進を目標として活動しています。

アーチェリーは弓と矢を使って標的を狙い得点を競うスポーツです。年齢や体力に関係無く、また障がい者、健常者ともに同じ土俵で競い合うことができる数少ないスポーツでもあります。競技の種類も豊富で、屋外の平地で行なうターゲットアーチェリー、野山を舞台にするフィールドアーチェリー、屋内で行なうインドアアーチェリーなどがあります。

屋外では東京 2020 オリンピックで男子団体が銅メダルを獲得したことが記憶に新しいところだと思えます。徳島県では昨年の国民スポーツ大会に少年男子が四国ブロックを勝ち抜き本大会に出場しました。

マイナー競技ではありますが、県内でも鳴門市瀬戸町にあるフィールドアーチェリー場で、下は小学生から上は 80 代の方が毎週汗を流しています。

自分との戦いであるスポーツなので一人でも始められ、やってみたい！と思ったらできるスポーツです。

これからも少しでも多くの仲間が増え、県内に生涯スポーツが普及するよう取り組んでいきたいと思えます。



ターゲット競技



インドア競技



フィールド競技



フィールドアーチェリー場での練習

加盟団体だより
～みんな、頑張っています～

つるぎ町体育協会

本会は、つるぎ町における体育・スポーツの健全な普及および発展を図り、町民の心身の健全な発達に寄与すると共に体育の振興を図ることを目的に設立されました。現在は 17 競技の団体で構成しており、町民がスポーツ活動を行える場を提供し、スポーツ振興に取り組んでいます。

令和 6 年度の会員は 321 人で人口減少に伴い、競技者不足が課題となっておりますが、どの団体においても年間を通じさまざまな活動を行っています。本会としても、主催するバレーボール大会、ソフトボール大会等を通じて町民がスポーツに取り組むきっかけや仲間とスポーツを楽しむこと、スポーツを通じて健康で心豊かに日々を過ごせるよう努めています。今後においても継続的な活動ができる環境を整え、町民の皆さんが交流できる場の提供、スポーツを通じた地域活性化を目指し続けたいと考えています。



つるぎ町バレーボール大会



つるぎ町ソフトボール大会



ミズノパークゴルフ大会 IN 貞光



つるぎ町野球大会

加盟団体だより

～みんな、頑張っています～

徳島県スポーツ栄養士協会

徳島県スポーツ栄養士協会は会員の多くが病院や老健勤務ということもあり、コロナ禍では活動に制限のある会員が多くやむなく協会の活動を休止しており、集まることさえできておりませんでした。

活動休止からおよそ4年の2024年4月15日にリアルで集まり総会・研修会を久しぶりに開催し、活動を再開させることができました。現在の会員数は18名となっておりますがコロナ禍で会員も変化があり、新たに入ってきた会員も多いことから、あまり外での活動はできておりませんが、研修会を通して会員全体の知識向上に取り組んでいます。

スポーツにおける栄養は、選手のパフォーマンス向上やコンディショニングにおいて重要です。適切な栄養素の摂取により、体力の維持や疲労回復・筋肉の成長にもつなげることができることから、日々の3度の食事の重要性や、食事の質・量・タイミングについてなどを伝えております。今の時代はスマートフォンで何でもすぐに調べることができる一方、情報があふれており、どの情報が正しいかの判断が難しい時代となっております。その中で私たちは、まずは食事の重要性や食材にはそれぞれの良さがあることなど、基本的な内容からお伝えし、食事が選手の身体作りの基礎となることをお話させていただいております。

活動を再開してから、高校の部活動やクラブチーム、研修会への講演の依頼を頂くこともありました。その講演でも食事や栄養の基本的な内容を中心にお伝えさせていただいております。今後は会員のレベルアップを図りながら、将来的には高校の部活動やクラブチーム等へ、栄養面でのサポートを積極的に行って参りますので、引き続きよろしく願いいたします。



NPO 法人 K-Friends



NPO 法人 K-Friends は、からだ「元気」こころ「健康」そして「笑顔」をキャッチフレーズに子どもから高齢者まで交流の場として地域に根付いています。

幼児から高齢者まで現在の会員数は 250 名で、教室・サークル等で活動しています。

教室は、幼児・児童対象はキッズサッカー、運動あそびを開催しています。成人対象は Ruri ヨガ・楽しくダンス・ハワイアン・健康力アップ・ソフトバレーボール・卓球・スポンジテニスなど運動となんちゃってボイトレ・お手玉サロンなどのサロン等会員皆さまの地域交流の場となっています。

勝浦町から 65 歳以上の方を対象にした介護予防事業を受託し、フレイル予防教室を開催しています。その他、町民体育館を始め他 3 施設の指定管理事業の受託をきっかけに様々な取り組みにチャレンジしています。私たちが「元気」「健康」「笑顔」に過ごすためには、「食×スポーツ」は切り離せないものであり、食育や SDGs の視点から 6 次産業商品開発（まちの特産物）もしております。その収益は非営利活動へ還元し持続的なクラブ運営に努力しております。その活動が認められ、令和 6 年度徳島県知事表彰をいただき、農林水産省中四国農政局からも「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」で奨励賞を受賞しました。

近年では、勝浦町の人口減少やスポーツ離れ、物価高騰による年会費や参加費の負担などの課題があり、県・町などの補助金事業を積極的に取り入れ、恐竜運動会・スポーツツーリズム（みかんウォーキング）等イベントを開催しています。今後も地域の皆さまが楽しめる交流の場を作り、スポーツ振興に貢献してまいります。



恐竜運動会



健康力アップ



フレイル予防にこにこ体操

上板ふれあいクラブ

上板ふれあいクラブは多くの町民がスポーツ・文化活動を通じて健康増進を図り、健康で長生きができるように、医療費の削減や活力ある町を目指しています。また、自分たちのスポーツ環境は自分たちで作り、確保することにより、地域づくりや地域の活性化につなげることを目的として、潜在的なスポーツ人口の掘り起こしや、地域のスポーツ施設の有効活用を図ることを目的として平成21年3月に設立しました。

事業として現在10教室(キッズサッカー、キッズスポーツ、エアロビクス(2タイプ)、太極拳、吹き矢&ポッチャ、ストレッチ、カローリング、ピククルボール、ダンススポーツ)を開催し、クラブ恒例イベントとして日帰り旅行、ニュースポーツ交流会、ボウリング交流大会を開催しています。

なお、クラブハウスでは卓球、筋トレは日曜、祝日を除き毎日利用できます。

令和6年度の会員数は156名で、今年度は増加が見込まれています。

また、上板ふれあいクラブでは、入会しやすい年会費を設定しており、多くの方の入会をお待ちしています。興味のある方は是非、気軽にお越しください。

今後も、会員及び住民の皆様にご満足していただけるように、スタッフ一同、頑張っていきたいと思っております。



エアロビクス教室



ニュースポーツ交流会



キッズスポーツ教室



卓球を楽しもう

国民スポーツ大会第46回四国ブロック大会

国民スポーツ大会第46回四国ブロック大会が、徳島県を中心とする各会場にて開催され、熱戦の結果、第79回国民スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ2025」出場競技が決定しました。応援よろしくお願いします。



32 競技（県単競技含む）

陸上競技・水泳・テニス・ローイング・ホッケー・バレーボール・体操・バスケットボール・レスリング・セーリング・ウエイトリフティング・自転車・ソフトテニス・卓球・軟式野球・相撲・馬術・フェンシング・柔道・バドミントン・弓道・ライフル射撃・剣道・ラグビーフットボール・スポーツクライミング・カヌー・空手道・銃剣道・なぎなた・ボウリング・ゴルフ・トライアスロン



◇◇◇徳島県代表選手団日程◇◇◇

- | | |
|------------|---------------------------------|
| ○徳島県選手団結団式 | 令和7年9月1日（月）徳島グランヴィリオホテル |
| ○会期前1 | 令和7年9月6日（土）～15日（月）【滋賀県】 |
| ○会期前2 | 令和7年9月21日（日）～9月25日（木）【滋賀県】 |
| ○本会期 | 令和7年9月28日（日）～10月8日（水）【滋賀県】 |
| ○総合開会式 | 令和7年9月28日（日）平和堂 HATO スタジアム【彦根市】 |
| ○総合閉会式 | 令和7年10月8日（水）平和堂 HATO スタジアム【彦根市】 |

湖国の感動 未来へつなぐ



キャッフィー

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
2025



チャッフィー

式典	会場	式典会場	式典日数	式典日程																	
				9月			10月														
				28日	29日	30日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日							
総合開会式	彦根市	平和堂HATOスタジアム(彦根総合スポーツ公園陸上競技場)	1	●																	
総合閉会式		平和堂HATOスタジアム(彦根総合スポーツ公園陸上競技場)	1																		

【正式競技(本会期)】

競技名	種目	種別	会場	競技会場	競技日数	競技日程																	
						9月			10月														
						28日	29日	30日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日							
陸上競技		全種別	彦根市	平和堂HATOスタジアム(彦根総合スポーツ公園陸上競技場)	5																		
サッカー		成年男子	東近江市	東近江市総合運動公園布引陸上競技場	3																		
				京セラ株式会社滋賀東近江工場総合グラウンド	2																		
				東近江市能登川グラウンド	2																		
		少年男子	守山市	野洲川歴史公園サッカー場(ビッグレイク)	5																		
		少年男子 少年女子	甲賀市	甲賀市水口スポーツの森陸上競技場	3																		
		少年女子	大津市	皇子山総合運動公園陸上競技場	4																		
				伊香立公園芝生グラウンド	1																		
テニス		全種別	大津市	大石緑地スポーツ村テニスコート	4		●	●	●	●													
ローイング		全種別	大津市	関西みらいローイングセンター(滋賀県立琵琶湖漕艇場)	4																		
ホッケー		成年男子 少年男子	米原市	OSPホッケースタジアム(滋賀県立伊吹運動場)	5																		
		成年女子 少年女子		米原市伊吹第1グラウンド	4																		
ボクシング		成年男子 少年男子 少年女子	東近江市	東近江市能登川アリーナ	5		●	●	●	●	●												
バレーボール	6人制	成年男子	草津市	草津市立総合体育館	4	●	●	●	●														
		成年女子	草津市	YMITアリーナ(くさつシティアリーナ)	4	●	●	●	●														
		少年男子	近江八幡市	近江八幡市立運動公園体育館	4	●	●	●	●														
		少年女子	守山市	守山市民体育館	4	●	●	●	●														
バスケットボール		成年男子	大津市	滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)	4																		
		成年女子	野洲市	野洲市総合体育館	4																		
		少年男子	大津市	滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)	5																		
		少年女子	草津市	YMITアリーナ(くさつシティアリーナ)	5																		
レスリング		成年男子 少年男子	栗東市	栗東市民体育館	4		●	●	●	●													
		女子			2		●	●															
セーリング		全種別	大津市	大津市柳が崎特設セーリング会場	4	●	●	●	●														
ウエイトリフティング		成年男子 少年男子 少年女子	高島市	滋賀県立安曇川高等学校体育館	5																		
ハンドボール		成年男子 成年女子	彦根市	プロシードアリーナHIKONE(彦根市スポーツ・文化交流センター)	5																		
		少年男子	彦根市	あづちマリエート	5																		
		少年男子 少年女子	近江八幡市	近江八幡市立運動公園体育館	4																		
		少年女子	彦根市	彦総グリーンアリーナ(彦根総合高等学校体育館)	2																		
ソフトテニス		全種別	長浜市	長浜城テニスガーデン(長浜市民庭球場)	4																		
卓球		全種別	野洲市	野洲市総合体育館	5	●	●	●	●	●													
軟式野球		成年男子	近江八幡市	カローラ滋賀はちまんスタジアム(近江八幡市立運動公園野球場)	1																		
			草津市	草津グリーンスタジアム	2																		
			守山市	守山市民球場	2																		
			甲賀市	甲賀市民スタジアム	3																		
			東近江市	東近江市ひばり公園湖東スタジアム	3																		
			日野町	日野町大谷公園野球場	2																		
相撲		成年男子 少年男子	長浜市	県民共済ドーム長浜(滋賀県立長浜ドーム)	3		●	●	●														
馬術		成年男子 成年女子 少年	兵庫県 三木市	三木ホースランドパーク	5		●	●	●	●	●												
フェンシング		全種別	大津市	ウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)	4		●	●	●	●													
柔道		成年男子 少年男子 少年女子	長浜市	湖北THGツインアリーナ(長浜伊香ツインアリーナ)	3																		
ソフトボール		成年男子	東近江市	東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド	3		●	●	●														
		成年女子	高島市	高島市今津総合運動公園第1グラウンド	3		●	●	●														
				高島市今津総合運動公園第2グラウンド	2		●	●															
		少年男子	草津市	草津市立野村運動公園グラウンド	3		●	●	●														
		少年女子	守山市	守山市民球場	3		●	●	●														
				守山市民運動公園ソフトボール場	2		●	●															
バドミントン		全種別	大津市	滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)	4	●	●	●	●														
弓道	近的	全種別	彦根市	プロシードアリーナHIKONE(彦根市スポーツ・文化交流センター)	4	●	●	●	●														
	遠的				3	●	●	●															

競技	種目	種別	会場	競技会場	競技 日数	競技日程											
						9月					10月						
						28 日	29 月	30 火	1 水	2 木	3 金	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	
第1日	第2日	第3日	第4日	第5日	第6日	第7日	第8日	第9日	第10日	第11日							
ライフル射撃	25m	成年男子	大津市	滋賀県警察学校射撃場	3							●	●	●			
	50m	成年男子 成年女子	大阪府 豊能郡 能勢町	能勢ライフル射撃場	4												
	10m	全種別									●	●	●	●			
	BR・BP	少年男子 少年女子															
剣道		全種別	湖南省	湖南省総合体育館	3		●	●	●								
ラグビーフット ボール	7人制	成年男子	野洲市	滋賀県希望が丘文化公園	2										●	●	
		女子															
	15人制	少年男子			4						●	●		●	●		
スポーツクライミ ング	リード	全種別	竜王町	竜王町総合運動公園スポーツクライミング特設会場	3						●	●	●				
	ボルダー	全種別										●	●	●			
カヌー	スプリント	全種別	東近江市	伊庭内湖特設カヌー競技場	4						●	●	●	●			
	スラローム	成年男子 成年女子	大津市	瀬田川特設カヌー競技場	2							●	●				
	ワイルドウォーター											●	●				
アーチェリー		全種別	愛荘町	愛荘町スポーツセンター愛荘グラウンド	3									●	●	●	
空手道		全種別	大津市	ウカルちゃんアリーナ（滋賀県立体育館）	3									●	●	●	
銃剣道		成年男子 少年男子	高島市	新旭体育館	3							●	●	●			
なぎなた		成年女子 少年女子	彦根市	パナソニック株式会社くらしアプライアンス社彦根工場多目的ホール	3		●	●	●								
ボウリング		全種別	彦根市	ラピュタボウル彦根	5		●	●	●	●	●						
ゴルフ		成年男子	栗東市	琵琶湖カントリー倶楽部	3	●	●	●									
		少年男子	甲賀市	ベアズバウ ジャパン カントリークラブ	3	●	●	●									
		女子	東近江市	名神八日市カントリー倶楽部	3	●	●	●									
トライアスロン		成年男子 成年女子	近江八幡市	近江八幡市特設トライアスロン会場	1	●											

【正式競技（会期前1回目）】

競技	種目	種別	会場	競技会場	競技 日数	競技日程													
						9月													
						6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火			
水泳	競泳	全種別	草津市	インフロンニア草津アクアティクスセンター（草津市立プール）	3									●	●	●			
	飛込	全種別												●	●	●			
	水球	少年男子 女子						●	●	●	●								
	アーティスティッ クスイミング	少年女子					●												
	オープンウォー タースイミング	男子 女子	長浜市	長浜市南浜町地先特設会場	1					●									
バレーボール	ビーチバレーボ ール	少年男子 少年女子	長浜市	豊公園自由広場特設会場	4	●	●	●	●										
体操	競技	全種別	大津市	滋賀ダイハツアリーナ（滋賀アリーナ）	4							●	●	●	●				
	新体操	少年男子 少年女子					●	●											
	トランポリン	男子 女子						●											

【正式競技（会期前2回目）】

競技	種目	種別	会場	競技会場	競技 日数	競技日程											
						9月											
						17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	
自転車	トラック・レース	男子A 男子B 女子	京都府 向日市	京都向日町競輪場	4						●	●	●	●			
	ロード・レース	男子A 男子B 女子	東近江市	東近江市特設ロードレースコース	1					●							

【特別競技】

競技名	種目	種別	会場	競技会場	競技 日数	競技日程											
						9月					10月						
						28 日	29 月	30 火	1 水	2 木	3 金	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	
第1日	第2日	第3日	第4日	第5日	第6日	第7日	第8日	第9日	第10日	第11日							
高等学校野球	硬式	—	大津市	マイネットスタジアム皇子山（皇子山総合運動公園野球場）	3		●	●		●							
	軟式	—	甲賀市	甲賀市民スタジアム	3		●	●		●							
		—	高島市	高島市今津総合運動公園今津スタジアム	2		●	●									

【公開競技】

競技	会場	競技会場	競技 日数	競技日程
綱引	近江八幡市	あづちマリエート	2	8月23日（土）～8月24日（日）
ゲートボール	長浜市	県民共済ドーム長浜（滋賀県立長浜ドーム）	2	9月6日（土）～9月7日（日）
武術太極拳	野洲市	野洲市総合体育館	2	8月30日（土）～8月31日（日）
パワーリフティング	栗東市	栗東市民体育館	2	9月20日（土）～9月21日（日）
グラウンド・ゴルフ	甲賀市	甲賀市水ロススポーツの森	2	9月13日（土）～9月14日（日）
バウンドテニス	草津市	YMITアリーナ（くさつシティアリーナ）	2	9月20日（土）～9月21日（日）
エアロビック	守山市	守山市民体育館	2	8月23日（土）～8月24日（日）

令和7年度における御協賛のお願い

日頃は、本県スポーツの発展につきまして、ひとかたならぬ御支援をいただき、深く感謝申し上げます。

公益財団法人徳島県スポーツ協会（以下「県スポーツ協会」という）の事業と運営を財政的に支援することを目的に、賛助会員や寄附金を募集しております。

毎年、多くの方々や事業所（企業）から積極的な御支援、御協力をいただき、改めて深く感謝申し上げます。

県スポーツ協会におきましては、管理費の縮減に努め、費用対効果を十分考慮した事業運営や有限の資源を効果的に活用するなど、今後も努力してまいります。

令和7年度におきましても、本会の趣旨に御賛同いただけるの方々や事業所（企業）の御支援によりまして、県スポーツ協会の目的とする諸事業が円滑に推進できますよう、皆様方の暖かい御協力をお願いいたします。

令和7年8月31日

公益財団法人 徳島県スポーツ協会
理事長 田中 稔

【賛助会員】

1. 会 費 一口 5,000 円以上
2. 納入方法 銀行振り込み
◇振込依頼書を準備しておりますので、下記まで御連絡ください。

【企業寄附】

1. 納入方法 銀行振り込み

寄附金の税制優遇について

公益財団法人徳島県スポーツ協会は、法人税法、所得税法、租税特別措置法において認められた「特定公益増進法人」であり、御寄附は税制上の優遇措置が受けられる免税募金となります。

問 合 先 公益財団法人徳島県スポーツ協会事務局（TEL 088-684-3660）
〒772-0017 鳴門市撫養町立岩字四枚 61 番地 鳴門・大塚スポーツパーク内

令和7年8月31日 発行所 / 公益財団法人徳島県スポーツ協会
〒772-0017 鳴門市撫養町立岩字四枚 61 番地
鳴門・大塚スポーツパーク内
TEL 088-684-3660 FAX 088-684-3661
E-Mail tokushimaken@tokushima-sport.net
<https://www.awa-spo.net>

スポーツ安全保険[®]

小さな掛金で充実補償



熱中症も対象



ネットで簡単手続き



スポあんネット
インターネットでかんたん加入

団体活動のための総合補償

#スポーツチーム #大学クラブ #スポーツ少年団 #放課後事業

#総合型地域スポーツクラブ #教室 #部活動地域移行 #文化系サークル #ボランティア

保険の詳細内容、
資料の請求は、
ホームページを
ご覧ください。



地域のみなさまとともに——

日頃は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

わたくしども **とくぎん** は、

「地域やお客さまとともに成長し続ける銀行」を目指します。

 徳島大正銀行

 トモニホールディングス



飲んでカラダを バリアする[※]。

この季節、あなたのカラダに必要なのは、
乳酸菌B240 + 電解質。

<ボディメンテ>は、この2つの力で
カラダをバリアする[※]新発想のドリンク。

飲み続けることで、

あなたの体調管理をサポートします。

さあ、今日からメンテナンスを始めませんか。



BODYMAINTÉ
CONDITIONING DRINK

ボディメンテ



※「バリアする」とは、コンディショニングに欠かせない成分が、いつもと変わらない体調と自分らしさを守ることです。